宮代町立体育館空調設備設置電気設備工事

設計図

図 面 リ ス ト

図面 番号	図面名称
Ｅ－０１	電気設備特記仕様書 No.1
Ｅ－０２	電気設備特記仕様書 No.2
Ｅ－０３	配置案内図
Ｅ－０４	仮設計画平面図
Ｅ－０５	受変電設備単線結線図及び外形参考図
Ｅ－０６	ＡＣ－ＧＣ切替盤単線結線図及び外形参考図
Ｅ－０７	既設受変電設備単線結線図及び外形参考図
Ｅ－０８	受変電設備改修平面図
Ｅ－０９	受変電設備改修平面詳細図
Ｅ－１０	受変電設備撤去平面図
Ｅ－１１	分電盤単線結線図・外形参考図
Ｅ－１２	幹線・動力設備屋外改修平面詳細図
Ｅ－１３	幹線・動力設備１階改修平面図
Ｅ－１４	幹線・動力設備２階改修平面図
Ｅ－１５	植栽撤去平面図

電気設備工事特記仕様書

1 工事概要

1.1 工 事 名　　宮代町立体育館空調設備設置電気設備工事
1.2 工事場所　　埼玉県南埼玉郡宮代町和戸１８３４
1.3 工　　期　　契　　約　　日 から 令和　年　月　日 まで
現場施工期間　　令和　年　月　日 から 令和　年　月　日 まで
現場施工期間は、施設管理者との調整により変更することがある。

1.4 工事科目（○印の付いたものを適用する）

⊙ 電灯設備	・ テレビ共同受信設備
⊙ 動力設備	・ テレビ電波障害防除設備
・ 電熱設備	・ 監視カメラ設備
・ 雷保護設備	・ 駐車場管制設備
⊙ 受変電設備	・ 防犯、入退室管理設備
・ 電力貯蔵設備	・ 自動火災報知設備
・ 発電設備	・ 自動閉鎖設備
・ 構内情報通信網設備	・ ガス漏れ火災警報設備
・ 構内交換設備	・ 電話配管設備
・ 情報表示設備	・ 中央監視制御設備
・ 映像、音響設備	・ 医療関係設備
・ 拡声設備（非常放送設備）	・ 昇降機設備
・ 誘導支援、呼出し設備	

1.5 指定部分　⊙ 無　・有（　　　　工期：令和　年　月　日）

1.6 主任技術者又は監理技術者の専任期間（建設業法により必要になった場合）
1 専任期間の始期
請負契約締結の日から、(⊙現場施工に着手するまで（現場事務所の設置、資機材の搬入又は仮設工事等が開始されるまで）の期間　・令和　年　月　日までの期間）については、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
2 専任期間の終期
工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合は除く。）、事務手続き、後片付けのみが残っている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。
3 専任期間の中断
自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により発注者からの通知により、工事を全面的に一時中止にしている場合は、主任技術者又は監理技術者の専任を要しないものとする。

1.7 建物概要
建物名称：宮代町総合運動公園 体育館棟
構　造：ＲＣ造（一部鉄骨造）　・　階　数：地上２階建　・　延べ面積：３，２７７．９０５［m^2］

1.8 工事概要
体育館棟空調機設置工事に伴う電気設備改修工事。

1.9 同時期発注の関連工事　・ 建築工事　・ 機械設備工事

2 工事仕様

2.1 共通仕様
（1）この工事は特記仕様書、図面によるほか、埼玉県電気設備工事特別共通仕様書（以下「特別共通仕様書」という。）、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）、公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）、公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（以下「標準仕様書等」という。）及び監督員の指示に従い施工する。
なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書、機材の品質・性能基準を最優先とする。
（2）機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合は、それぞれの特別共通仕様書及び標準仕様書等を適用する。
（3）法令・基準・仕様書等は、原則として施工時において最新のものを適用する。

2.2 特記仕様（特記事項の選択項目は、○印のついたものがなければ※印を適用し、・印のものは適用しない。
⊙印と ㊟印の付いた場合は、共に適用する。）

項　目	特　記　事　項

① 機材等
本工事に使用する機材等は、設計図書に規定するもの又はこれと同等のものとする。なお、資材名、製造所名および発注先を記載した報告書を監督員に提出し承諾を受けるものとする。
使用機材等については、アスベスト含有の有無を確認し、アスベストを含む機材等は使用しないこと。
「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」に基づく特定調達品目に該当する機材を使用する場合は、原則として、その判断の基準、配慮事項を満たすこと。
調達する工事材料は、埼玉県産とするよう努めるものとする。

② 施工条件
施工時間
※行政機関の休日に関する法律（S63第91号）に定める行政機関の休日以外。
・上記以外の時間に施工する場合は事前に監督員と協議すること。

③ 工事用電力・水
本工事に必要な電力及び水などの費用は、受注者の負担とする。

④ 工事用仮設物
すべて受注者の負担とし、構内につくることができる。

⑤ 足場・さんばし類
・別契約の関連工事の受注者が定着したものは無償で使用できる。
※本工事とする。

⑥ 監督員事務所
本工事で　・設ける（規模　　　　）　※設けない

⑦ 保　険
受注者は工事目的物及び工事材料について工事完成期日後１４日まで、これを火災が保障対象になっている組立保険等にかけて、証書の写しを監督員に提出する。
受注者は法定外の労災保険に付し、証書の写し等を監督員に提出する。

⑧ 再使用機材
取外し再使用機材は、清掃及び絶縁抵抗測定等を行い、機能が良好なことを確認した上で取付る。なお、その測定結果表を監督員に提出する。

⑨ 建設リサイクル法の適用
建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律の適用について
※　適用する（契約金額による）　・　適用しない

⑩ 完成図書の電子納品
完成図書の電子納品ガイドライン　※　適用する　・適用しない
完成図の表紙及び背表紙には、工事名、受・発注者名、完成年月を記載すること。また、完成図の中に主要機器一覧表（名称、製造者名、形式、容量又は出力、数量等）を記載すること。
県営住宅の完成図の提出部数は、Ａ３二つ折り製本４部とする。

⑪ 発生材処理
引渡を要するもの以外は構外に搬出し、適切に処理する。
（構外搬出処理費は、※本工事　・別途）
（1）引渡しを要するもの　（　　　　）
（2）買取処分をするもの　（銅屑・鉄屑　　　　）
（3）再生資源化を図るもの（蛍光管　　　　）
蛍光管等は再資源化施設等に搬入し、全てリサイクルするものとする。
（4）特別管理産業廃棄物　（　　　　）
※処理に先立ち計画書を提出し、処理後は調書を提出すること。

⑫ 金属電線管の塗装
露出配管は原則として塗装を行う。ただし、機械室、倉庫等の露出配管は塗装を行わない。
また、屋外で溶融亜鉛メッキ電線管を使用する場合は、塗装を行わない。
ただし、見えかかり部の塗装については監督員の指示による。

⑬ 鍵
盤等の鍵は、既存盤及び別途工事の鍵との整合を極力図るものとする。

⑭ 地中電線路
（1）管路等の敷設に伴う敷き均し土は、標準仕様書のほか下記及び図面特記による。

敷き均し土	管　種　別
良質土	硬質ビニル電線管（VE） 耐衝撃性塩化ビニル管（HIVE） 波付硬質合成樹脂管（FEP） ポリエチレン被覆鋼管（PLP）

（2）地中電線路には、ケーブル埋設標及び標識シートを設ける。ただし、低圧・弱電回路の標識シートは図面特記による。
（3）地中電線路の敷設は管路式とし、埋設深さは地表面（舗装する部分では路盤材下面）から配管の上端まで原則、600mmとする。ただし、公道への引込み管路等の埋設深さについては、供給事業者と協議のうえ決定する。

⑮ 回路の種別 行先の表示
ハンドホール、プルボックス及び主要なアウトレットボックス内の電線・ケーブルには、回路の種別、行先の表示を行う。

⑯ 電線の接続
湿気の多い場所、水を使用する場所及び屋外は、圧着接続し自己融着テープを巻き付けたうえで絶縁テープ巻きとする。
上記以外の場所においては、屋内配線用電線コネクタによる接続をしてもよい。ただし、接続はボックス内とする。

⑰ 電線管の接続
屋外におけるケーブルの保護管に用いる厚鋼電線管の接続は、防水処置を施したねじなし工法としてもよい。

⑱ 接地工事
漏電遮断器で保護されている電路と保護されていない電路のＤ種接地極が共用していない場合の接地線は、混触防止のため、緑色、緑／黄又は緑／色帯で区別する。

⑲ 建設発生土の処理
埋め戻し後の建設残土は、※監督員が指示する構内の場所に敷きならす。
・構外搬出適切処理する。

⑳ 再生砂・再生アスコン
契約図書中の山砂の類、砂利、砕石及びアスコンに代替し、監督員の了解を得た上で、　※使用できる。　・使用できない。
再生砂使用に先立ち、１購入あたり１検体の六価クロム溶出試験を行い土壌の汚染に係る環境基準に適合することを確認すること。

㉑ 耐震施工
設備機器の固定等は、「建築設備耐震設計・施工指針　2014年版」（独立行政法人建築研究所監修）を参考とする。
なお、施工に際し、耐震強度計算書を監督員に提出し、承諾を受けるものとする。
（1）設計用水平地震力
機器の重量［kgf］に、設計用水平震度を乗じたものとする。
なお、特記なき場合、設計用水平震度は、次による。

設計用標準水平震度

設置場所	機器種別	特定の施設		一般の施設	
		重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階 屋上及び塔屋	機　器	2.0	1.5	1.5	1.0
	防振支持の機器	2.0	2.0	2.0	1.5
	水 槽 類(※1)	2.0	1.5	1.5	1.0
中間階	機　器	1.5	1.0	1.0	0.6
	防振支持の機器	1.5	1.5	1.5	1.0
	水 槽 類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6
地下・１階	機　器	1.0	0.6	0.6	0.4
	防振支持の機器	1.0	1.0	1.0	0.6
	水 槽 類(※1)	1.5	1.0	1.0	0.6

【備　考】（※1）：水槽類には、オイルタンク等を含む。
重要機器
・配電盤　・発電装置(防災用)　・直流電源装置　・交流無停電電源装置
・交換機　・火災報知器受信機　・中央監視装置　・太陽光発電装置
上層階の定義は次による。
2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層２階、10～12階建の場合は上層３階、13階建以上の場合は上層４階とする。
（2）設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の１／２とし、水平地震力と同時に働くものとする。

㉒ あと施工アンカー
機器・配管等の据付けにおけるあと施工アンカーの使用については、監督員の承諾を受けるものとする。
重量１００ｋｇを超える機器の耐震支持については、耐震計算書を添付し、アンカーボルトを選定すること。
施工は、（一社）日本建築あと施工アンカー協会の資格を有するもの、又は十分な技能及び経験を有した者が行うこと。
金属拡張系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、拡張の完了がわかる記録を添付すること。
接着系アンカーの場合は、所定の穿孔深さ、清掃状況、マーキング、カプセル挿入、埋込みの完了が分かる記録を添付すること。
（原則として、接着系アンカーは吊り支持に使用しないものとする。）
あと施工アンカーの試験は、アンカーの種類毎に１か所引張試験を実施すること。

㉓ はつり及びあと施工アンカー打設
既存コンクリート床、壁等の配管貫通部の穴開け及びあと施工アンカー打設前に、図面に明示する箇所についてＸ線撮影調査を実施すること。
電動ドリル等の刃が鉄筋、金属配管等に接触した場合に、自動で電動工具の電源を遮断する装置を使用する。

㉔ 改修部分の足場
本工事で単独に必要となる足場は、下記により設ける。
（1）内部足場　※ 脚立足場
（2）外部足場　※ Ａ種(枠組足場)・Ｂ種 ・Ｃ種 ・Ｄ種 ・Ｅ種 ・Ｆ種
※足場を設ける場合は、「「手すり先行工法等に関するガイドライン」について」（厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働きやすい安心感のある足場に関する基立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の２の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うものとする。

㉕ 墜落制止用器具（フルハーネス型）
※使用を要する　墜落制止用器具の安全な使用に関するガイドライン（平成30年6月22日付け基発0622第2号）による
・使用を要しない

㉖ アスベスト事前調査結果の報告
全ての建築物、工作物において大気汚染防止法及び石綿障害予防規則の事前調査を実施し、アスベスト使用有無に関わらず、結果を知事又は市長あてに報告する。

㉗ その他
（1）施工に先立って建築及び関連設備の業者と打合せのうえで施工図を作成し、監督員の承諾を受ける。
（2）本工事に使用する製作品は、事前に製作図を監督員に提出し、承諾後製作する。
（3）本工事に使用する機器は、事前に性能等を記した機器仕様書を監督員に提出し、承諾後施工する。
（4）本工事にかかる官公庁への諸手続はすべて受注者が代行し、その費用は受注者の負担とする。
（5）特記なき電線・ケーブルは、原則としてエコマテリアル電線・ケーブルとし、露出部分に使用する場合は耐紫外線性能を有するものとする。
（6）改修工事等を施工する場合、施工する前後に工事対象箇所の写真撮影を行う。また、既設ケーブル等は施工前後に絶縁抵抗、伝送品質等の測定を行い、試験記録を提出する。
（7）受注者は、施工にあたって施設運営に支障の無いように綿密に打合せを行うこと。
（8）本工事における停電措置が必要な場合、事前に計画書を電気主任技術者に提出する。また、停電操作・安全処置は受注者が行い、その費用は受注者の負担とする。
（9）特に騒音振動など周辺に甚大な影響のある工事については、原則として学校では学校運営に支障を与えない期間、その他の施設では施設管理者と打合せして設定すること。
(10) 工事に先立ち、監督員と打合せの上、住民及び関係自治会等に対して工事説明を実施すること又、工事に先立ち、「工事のお知らせ」等を配布し、周知する。
以上のことを留意し、工程管理、安全管理に万全を期すること。

2.3 工事別一般事項（特記事項選択項目は、○印のついたものを適用する）

項　目	特　記　事　項

1 電灯設備
（1）配線器具
スイッチ・壁付コンセント(2P15A)は連用形とする。なお、２口コンセントは複式を使用してもよい。
フラッシュプレートは原則としてステンレス又は新金属を使用する。
ただし、県営住宅における住戸内のフラッシュプレートついては、樹脂プレートを使用することができる。
コンセント器具に具備されている送り配線端子は使用してはならない。
（2）照明器具
防災用照明器具は、建築基準法による非常用照明器具及び消防法による誘導灯とし、関係法令に適合したものとする。
（3）照度測定
電灯設備工事に際し、新営工事の場合は新設後の、改修工事の場合は改修前と改修後の照度測定をJIS C 7612「照度測定方法」により、学校においては学校環境衛生基準により実施すること。
（4）分電盤
分電盤の塗装色は、監督員の指定した色とする。
（5）継枠
天井又は壁埋込みの場合のボックスは、塗りしろカバーと仕上り面とが１０ｍｍ程度以上離れる場合は継枠を使用する。ただし、ボード張りで、ボード裏面と塗りしろカバーの間が離れないように施工した場合は、継枠を必要としない。
（6）位置ボックスの省略
ケーブルころがし配線で、位置ボックスの図面特記がなく、かつ、照明器具に送り配線端子が具備されている場合は、位置ボックスを省略しても良い。

② 動力設備
（1）動力制御盤及び開閉器箱の塗装色は、監督員の指定した色とする。負荷用送り端子台は１負荷につきＵ・Ｖ・Ｗ・Ｅの４Ｐを原則とする。
（2）電動機等各負荷までの接続は、本工事とする。ただし、制御盤以降が別途工事の場合は、当該制御盤の電源側接続までとする。

3 雷保護設備
受雷部突針はＬＲ１とする。

④ 受変電設備
高 圧 引 込　　引込み口は、設計図に示された位置を電力会社に再確認する。また、ケーブル等の埋設及び、その端末処理は監督員の立会いのうえで施工する。
高圧ケーブル端末部はシースずれ防止対策を施す。
（端末処理　・耐塩用　⊙一般用　）
受 電 電 圧　　交流３相３線式　６．６kV　５０Hz
柱上用高圧気中負荷開閉器(PAS)　　定格電圧　７．２kV　定格電流　３００Ａ
主 遮 断 装 置　　定格電圧　７．２kV　定格遮断電流　１２．５kA
変圧器設備容量　　動力用　　kVA×　台
電灯用　　kVA×　台
高圧進相コンデンサ　　kVar×　台
直列リアクトル　・６％　・１３％
kVar×　台

5 構内情報通信網設備
ネットワーク機器を盤内等に収納する場合は、放熱、耐塵等を考慮する。

6 電力貯蔵設備
・直流電源装置　・交流無停電電源装置
・（概要）

7 発電設備
・ ディーゼル発電装置　・ ガスエンジン発電装置
・ ガスタービン発電装置　・ マイクロガスタービン発電装置
・ 燃料電池発電装置　・ 熱併給(ｺｰｼﾞｪﾈﾚｰｼｮﾝ)発電装置
・ 太陽光発電装置　・ 風力発電装置
・ （概要）

項　目	特　記　事　項
8 構内交換設備	局線電話の引込位置は、第一種電気通信事業者と打合せのうえで施工する。
9 自動火災報知設備、ガス漏れ火災警報設備、拡声設備（非常放送設備）	（1）所轄する消防署と打合せのうえ、各関係条例等に従い施工する。 （2）総合盤内の接続は端子を使用し、回路名を記入しておくものとする。 （3）ガス漏れ警報設備の動作試験は、原則としてガス納入業者立会いのうえで行うものとする。
10 昇降機設備	特記なき場合の施工は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築工事標準仕様書（機械設備工事編）による。 なお、県営住宅の場合は、公共住宅建設工事共通仕様書による。

2.4 取付高さ
壁付、壁掛型の機器等の取付高さは、図面に記載のない場合は原則として次のとおりとする。

名　称	測　点	取付高さ（mm）	
		一　般	県営住宅
スイッチ（一般）	床上～中心	１，３００	１，２００
〃　（身体障害者用）	〃	１，１００	１，０００
〃　（人感センサー切換用）	〃	２，０００	２，０００
ｺﾝｾﾝﾄ、電話用ｱｳﾄﾚｯﾄ、直列ﾕﾆｯﾄ（一般）	〃	３００	４００
〃　（和室）	〃	１５０	２００
〃　（台上）	台上～中心	１５０	５００
防水型コンセント	床上～中心	５００	５００
分電盤、制御盤、開閉器箱	〃	(上端1,900以下)1,500	(上端1,900以下)1,500
呼出ボタン（身体障害者用）	〃	９００	９００
復帰ボタン（　〃　）	〃	１，８００	１，８００
廊下表示灯（　〃　）	〃	２，０００	２，０００
端子盤	〃	(上端1,900以下)1,500	２，０００

3 その他

3.1 他工事との取合区分
発注図又は工事区分表による。
3.2 図面上の縮尺
図面上の縮尺は、ＪＩＳ　Ａ１版とした縮尺とする。
3.3 疑義
本特記仕様書、特別共通仕様書及び標準仕様書等において疑義が生じた場合は、監督員と協議するものとする。

舗装版切断時に発生する濁水の処理に係る特記仕様書

第１条　この特記仕様書は、埼玉県電気設備工事特別共通仕様書に定めるもののほか、アスファルト舗装版切断時に発生する濁水（以下「濁水」という。）の処理に関し必要な事項を定めるものである。
第２条　受注者は、回収した濁水を次のとおり処理するものとする。
・種類及び処理量　汚泥（油分を含む汚泥）　．　m3
・中間処理施設　　市　　地内、（株）
・処理方法　　・中間処理後、最終処分場に搬入（処理に焼却又は溶融含まず）
・中間処理後、最終処分場又は再資源化（処理に焼却又は溶融を含む）
2　受注者は、別の中間処理施設を選定する場合には、事前に監督員と協議するものとする。
第３条　受注者は、舗装版切断作業を行いながら濁水を可能な限り回収し、作業後速やかに回収した濁水を産業廃棄物の汚泥（油分を含む汚泥）として中間処理施設に運搬及び処理するものとする。
2　受注者は、汚泥の中間処理業の許可を受けている業者と産業廃棄物処分委託契約を締結しなければならないものとする。
3　受注者は、自ら運搬を行う場合を除き、汚泥の収集運搬業の許可を受けている業者と産業廃棄物収集運搬委託契約を締結しなければならないものとする。
4　受注者は、濁水の処理に関する履行について、廃棄物の処理及び清掃に関する法律において定める産業廃棄物管理票（以下「マニフェスト」という。）により管理するものとする。
第４条　受注者は、施工計画書において、濁水の回収、運搬及び処理に関する方法を定めなければならないものとする。また、中間処理業者及び収集運搬業者と第3条第3項及び第4項に基づき締結した委託契約書の写し及び許可証の写しを添付すること。
2　受注者は、工事検査時にマニフェスト原本を提示する。
第５条　濁水処理量については、舗装版の切断延長や切断厚が変わった場合を除き、原則として設計変更の対象としないものとする。
2　受注者は、舗装版切断時に濁水を生じない工法を使用する場合においては、事前に監督員と協議するものとする。
3　この特記仕様書に疑義等が生じた場合については、別途監督員と協議するものとする。

昇降機の適切な維持管理に係る特記仕様書

第１条　この特記仕様書は、昇降機設備工事（新設、増設又は更新）において、昇降機を常時適法な状態に維持できるよう必要な事項を定める。なお、この特記仕様書に記載されていない事項は、「昇降機の適切な維持管理に関する指針」（平成28年２月19日付け国土交通省住宅局建築指導課）による。
第２条　この特記仕様書における用語の定義は、次の各号による。
2　昇降機とは、本工事で施工した昇降機設備をいう。
3　発注者とは、本工事の発注者をいう。
4　受注者とは、本工事の受注者をいう。
5　製造者とは、昇降機の製造者をいう。
6　管理者とは、昇降機の引渡しを受け、施設管理を行う者をいう。
7　保守点検受注者とは、管理者からの委託により、保守・点検業務を受注した者をいう。
第３条　製造者または受注者は、次の各号に掲げる責任を果たすよう努めなければならない。
2　製造者は、製造した昇降機の部品等を、昇降機の引渡しから起算して耐用年数を勘案して適切な期間供給すること。
3　製造者は、適切な維持管理を行うことができるよう、管理者に対して維持管理に必要な情報又は機材を提供又は公開するともに、問い合わせ等に対応する体制を整備すること。
4　製造者は、保守点検受注者からの依頼に対し協力すること。
5　受注者は、製造者に対し、前各号の規定を遵守するよう要請すること。
第４条　この特記仕様書に定めのない事項については、必要に応じて発注者と受注者が協議して定める。

官公庁等打ち合わせ機関
建築：
昇降機：
施設管理者　：
電力会社　：
電話会社　：
ケーブルテレビ会社　：
消防本部　：

工事名	宮代町立体育館空調設備設置電気設備工事		宮代町教育推進課	
SCALE　ＮＯＮ	設計	製図	図面名 電気設備工事特記仕様書 No.1	Ｅ ― ０１

環境配慮（グリーン）改修工事

① アスベスト処理工事
一般共通事項

留意事項

1　本工事は、アスベスト含有のおそれのある吹付け材、保温材又はダクトパッキン等を撤去する工事が含まれる場合に適用する。設備改修に伴う、アスベスト含有材への開口などの小規模改修工事は本仕様書に準じて行うものとする。

2　アスベスト処理を所管する行政庁の指導がある場合は、それによるものとし、監督員に報告し協議する。

3　この工事においては、図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和４年版）（以下「改修標仕」という）及び「建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル」（令和３年３月　厚生労働省・環境省）による。

2　アスベスト含有分析調査

分析によるアスベスト含有建材の調査　[9.1.1]

・ 行う（下表による）

材　料　名	調査方法（１材料あたりの試料数：3サンプル）
	※ 定性分析　・定量分析
	※ 定性分析　・定量分析
	※ 定性分析　・定量分析
	※ 定性分析　・定量分析

採取箇所　※　図示

分析対象

※ アスベスト ６ 種類（アモサイト、クリソタイル、クロシドライト、アクチノライト、アンソフィライト、トレモライト）

調査方法・分析方法

※ JIS A 1481　規格群（1481-1,2,3,4）「建材製品中のアスベスト含有率測定方法」に準拠する。

分析結果については、監督員に提出すること。

3　アスベスト粉じん濃度測定

アスベスト粉じん濃度測定　[9.1.1]

・ 行う（測定名称及び測定点は下表による）

測定箇所　※ 図示

適用 レベル1	適用 レベル2	適用 レベル3	測定名称	測定時期	測定場所	測定点数（各処理作業室ごと）	備考
⊙	⊙	・	測定１	処理作業前	処理作業室内	※各２点 ・各３点	
⊙	⊙	・	測定２		施工区画周辺又は敷地境界	４方向各１点	
・	・	・	測定３	処理作業中	処理作業室内	各２点	
⊙	・	・	測定４		セキュリティーゾーン入口	各１点	空気の流れを確認
⊙	・	・	測定５		負圧・除じん装置の排出口（処理作業室外の場合）	各１点	除じん装置の性能確認
⊙	⊘	・	測定６		施工区画周辺又は敷地境界	４方向各１点	
⊙	⊙	・	測定７	処理作業後（隔離シート撤去前）	処理作業室内	各２点（レベル3は１点）	
⊙	⊙	・	測定８		施工区画周辺又は敷地境界	４方向各１点	
・	・	・	測定９	処理作業後（シート撤去後１週間以降）	処理作業室内	各２点（レベル3は１点）	
・	・	・	測定１０		施工区画周辺又は敷地境界	４方向各１点	

アスベスト粉じん濃度測定方法

アスベスト粉じん濃度測定は「JIS K 3850-1:2006　空気中の繊維状粒子測定方法－第１部：光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」の「6.2 位相差・分散顕微鏡法」による。

測定機関は、都道府県労働局に登録されている作業環境測定機関とする。

	測定 3	測定 1,2,4,6,7,8,9,10	測定 5
計数機器	位相差・分散顕微鏡		
メンブレンフィルタの直径	25 mm		47 mm
試料の吸引流量	1 l/min	5 l/min	10 l/min
試料の吸引時間	5 min	120 min	240 min
試料の透明化	アセトンートリアセチレン法又は、シュウ酸ジエチル法		
計数条件	総アスベスト繊維数 200 本又は視野数 50 視野		
計数アスベスト	直径（幅） 3μm 未満、長さ 5μm 以上、長さと直径比 3:1 以上の繊維状物質		
定量限界	50 f/l	0.5 f/l	0.3 f/l

報告書の作成（記録する項目）

ア　測定結果
イ　測定時間
ウ　測定位置（測定高さとともに図面上に記載）
エ　サンプリング条件（メンブレンフィルタ直径、吸引時間、吸引空気量）
オ　マウンティング方法
カ　顕微鏡視野面積、計数視野数
キ　測定時（各測定場所ごと）の天候、温度、湿度、外気の風速及び風向
ク　周辺地形や捕集時の状況を撮影した写真

4　ｱｽﾍﾞｽﾄ含有吹き付材の撤去（レベル１）

アスベスト含有吹付け材の除去　[9.1.3]

・行う　除去方法は9.1.3による他、除去の部位・内容に応じた除去は専門工事業者の仕様とする。

除去物及び汚染物質等

処理方法

※密封処理（二重袋梱包）

隔離養生に用いたシート、使用した使い捨て保護衣、高性能真空掃除機フィルタ、粉じん機フィルタについても密封処理を行う。

・セメント固化

処理を行う吹付けアスベストの仕様

材　料　名	厚さ（mm）	処　理　を　行　う　範　囲
・		※　図示　・

⑤ ｱｽﾍﾞｽﾄ含有保温材等の撤去（レベル２）

アスベスト含有保温材の除去　[9.1.4]

・行う

作業上の隔離

・行う

・行わない

処理を行う保温材等アスベストの仕様

材　料　名	厚さ（mm）	処　理　を　行　う　範　囲
		※　図示　・

⑥ ｱｽﾍﾞｽﾄ含有成形板類の撤去（レベル３）

1　アスベスト含有成形板の除去　[9.1.5]

・行う

処理を行うアスベスト成形板の仕様等

材　料　名（製品名）	含有するアスベストの種類	処　理　を　行　う　範　囲
・		※　図示　・
		※　図示　・
		※　図示　・
		※　図示　・

※コア抜き箇所については、ウォータークリーン工法などの専門工法により壁塗装材撤去後に施工すること。
※アンカーによる穴開けは、ＨＥＰＡフィルター付ハンマードリルを用いて施工すること。
※関係官公署への手続きは施工前に確実に行うこと。

2　非石綿部での切断による除去

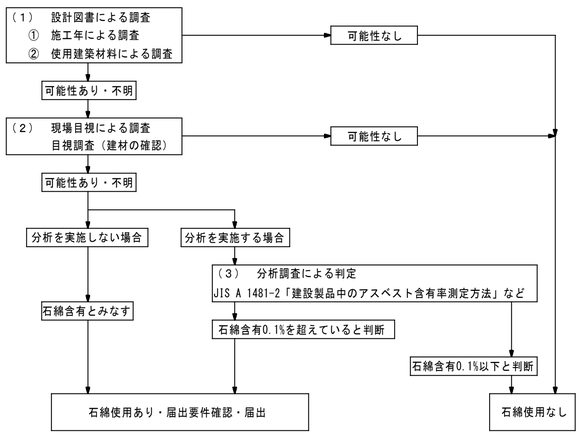
・行う

処理を行うアスベスト含有物の仕様等

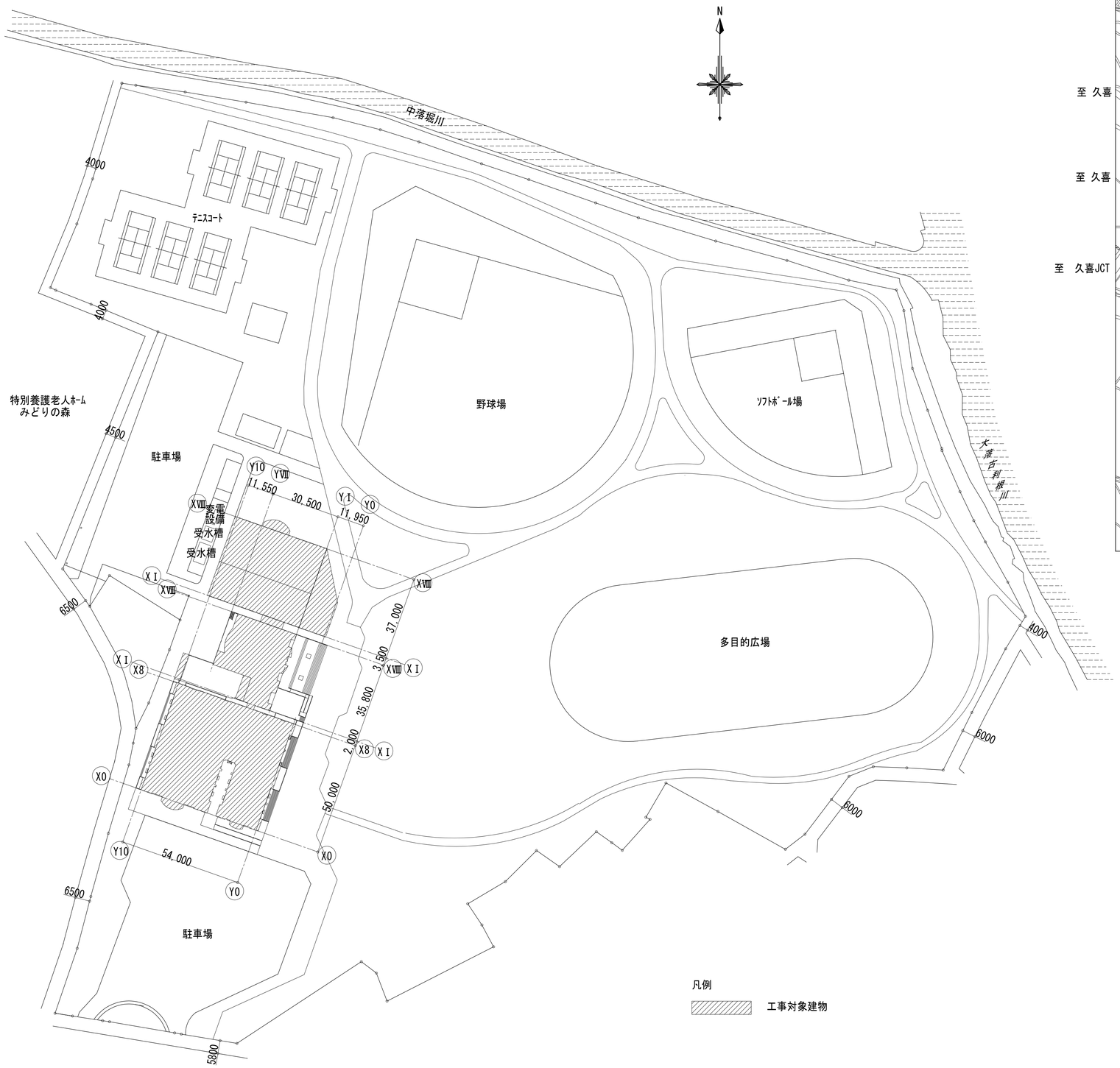
材　料　名	含有するアスベストの種類	処　理　を　行　う　範　囲
・		※　図示　・
・		※　図示　・
・		※　図示　・
		※　図示　・

※なお、石綿含有保温材付配管については、飛散のおそれを考慮し、一部レベル2の対応を図るものとする。

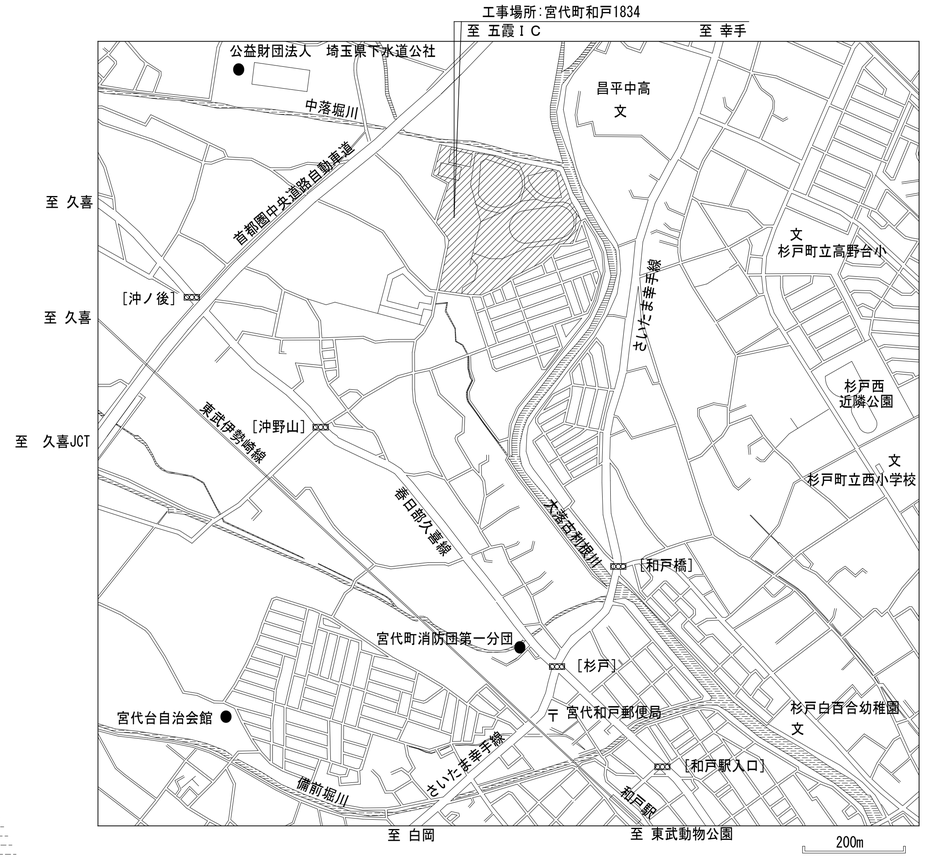
＜参考＞石綿使用有無の事前調査フロー



工事名	宮代町立体育館空調設備設置電気設備工事			宮代町教育推進課	
SCALE	ＮＯＮ	設計	製図	図面名 電気設備工事特記仕様書 No.2	Ｅ ― ０２

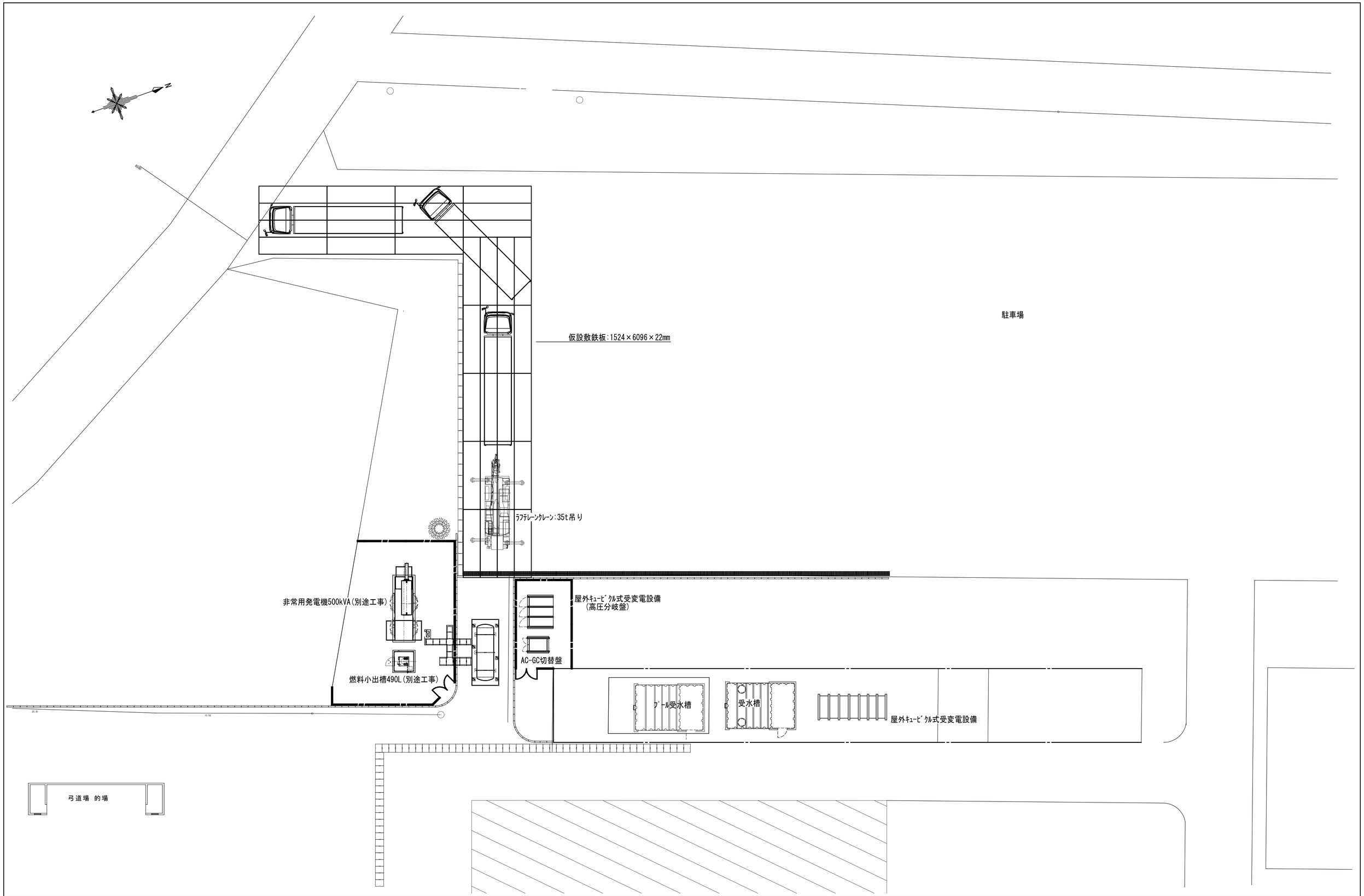


配置図　S=1/1000

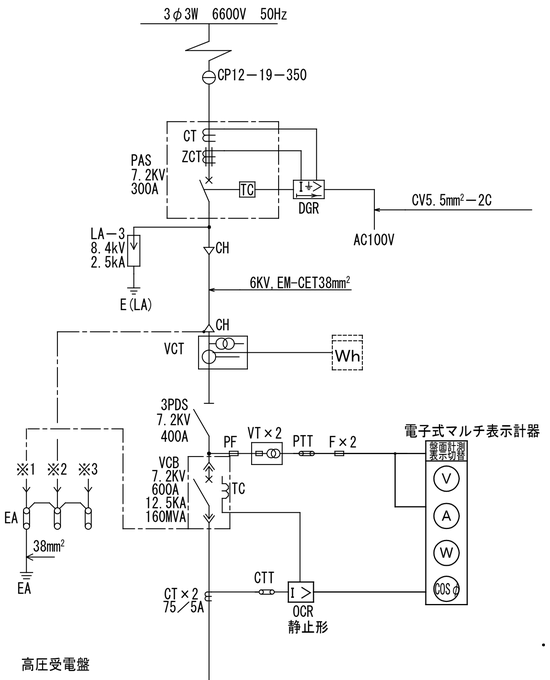


案内図

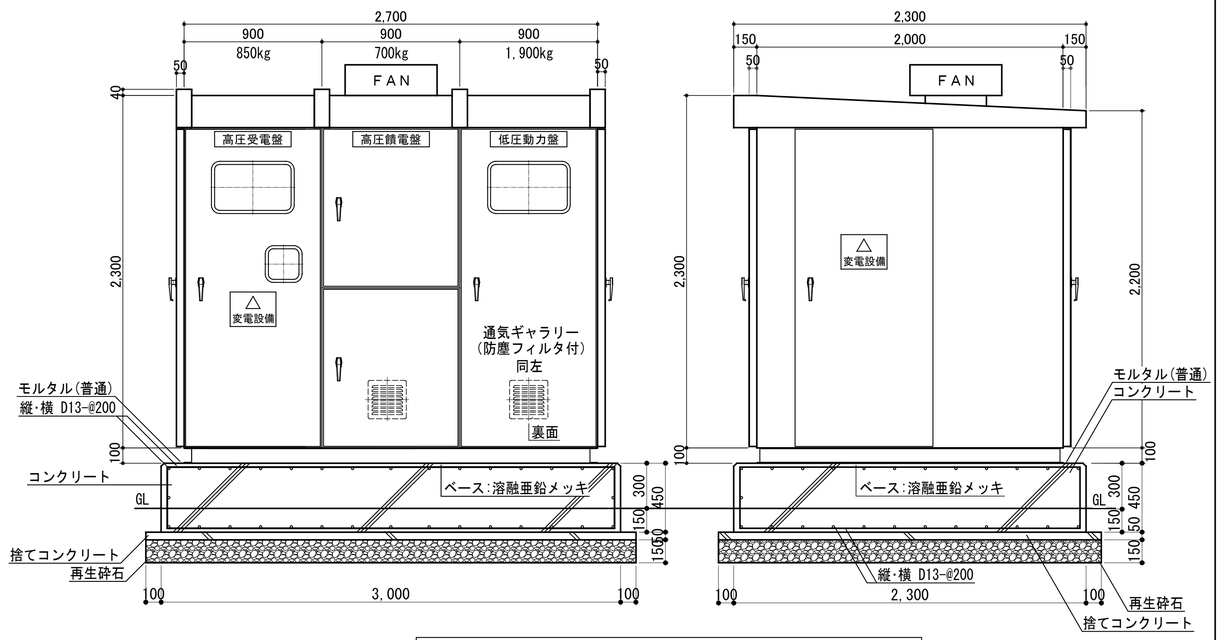
工事名 宮代町立体育館空調設備設置電気設備工事			宮代町教育推進課	
SCALE A1:1/1000 A3:1/2000	設計	製図	図面名 配置案内図	E ― 03



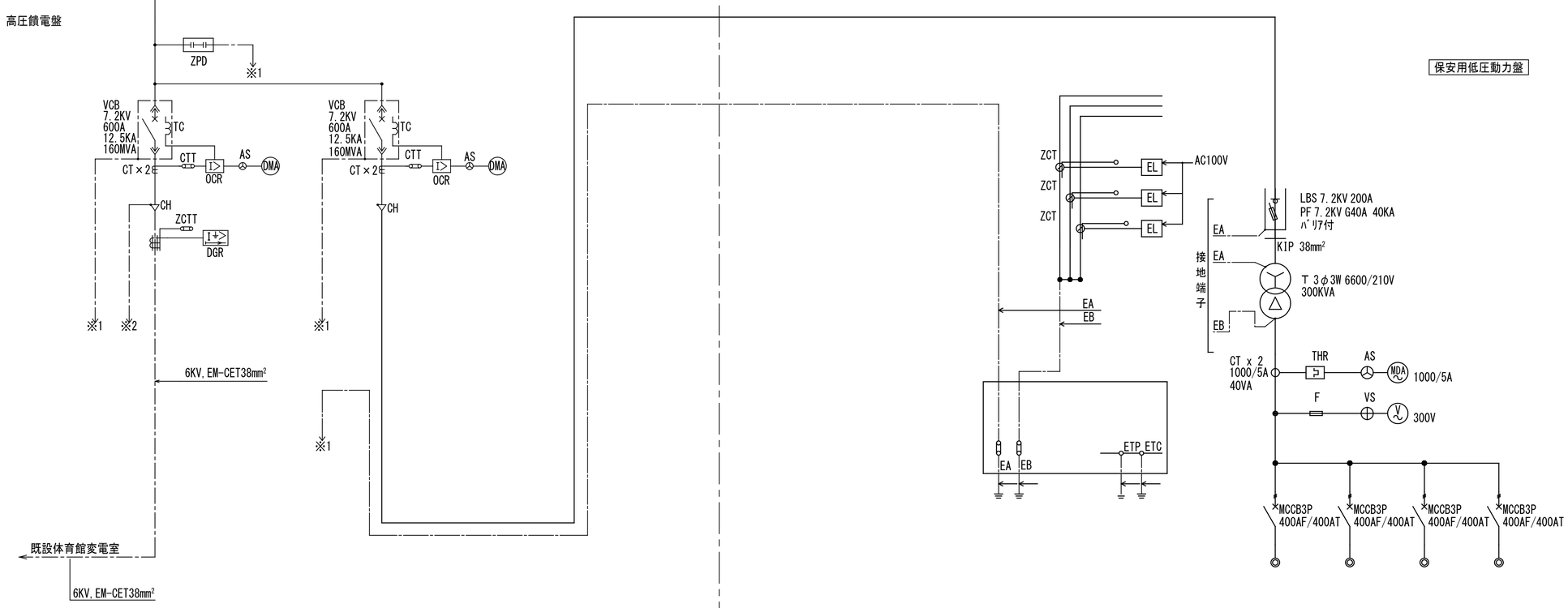
工事名	宮代町立体育館空調設備設置電気設備工事	宮代町教育推進課	
SCALE A1:1/150 A3:1/300	設計	製図	図面名 仮設計画平面図	E — 04



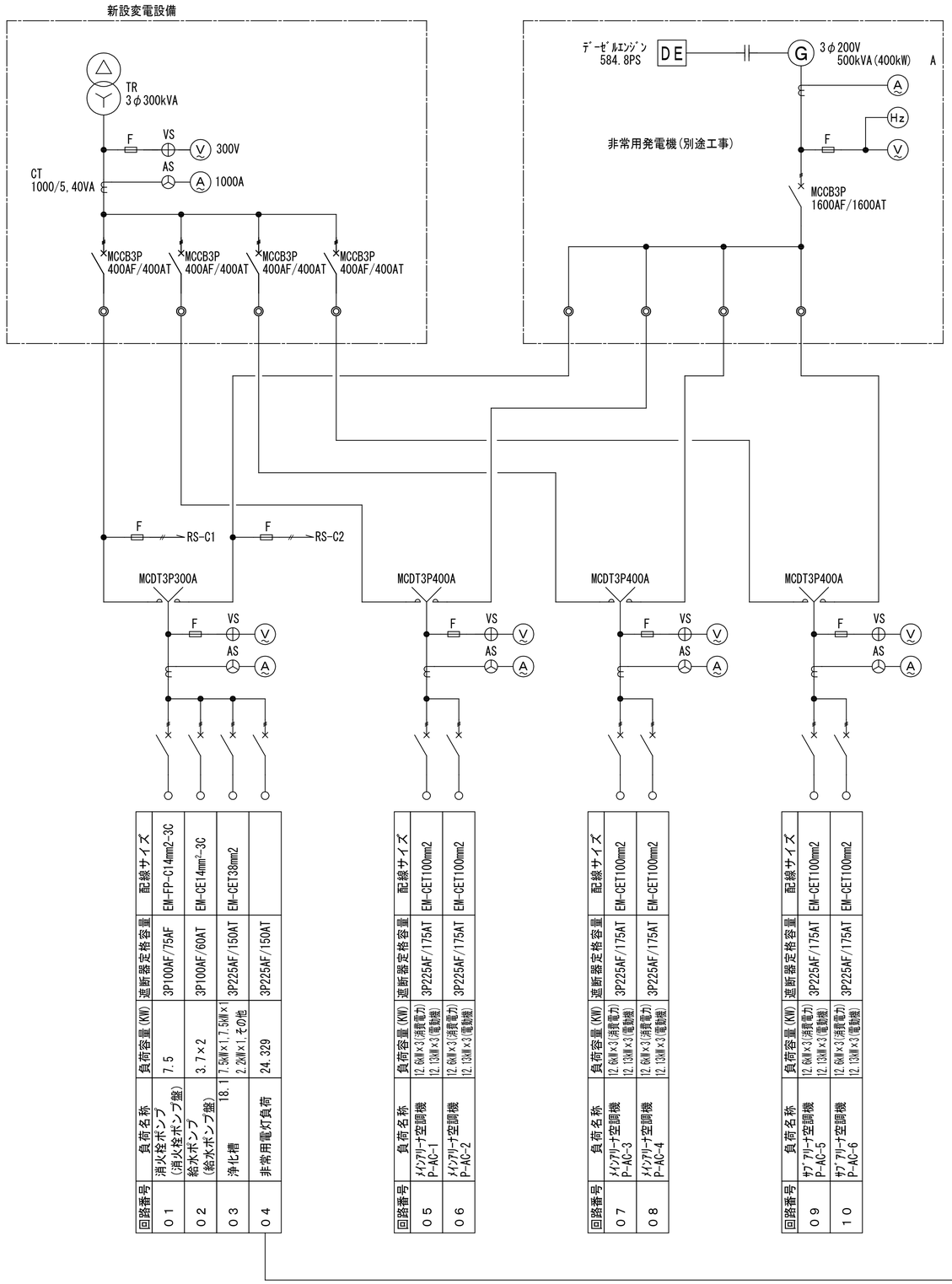
高圧受電盤



屋外ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式受変電設備外形参考図 S=1/20



工事名 宮代町立体育館空調設備設置電気設備工事		宮代町教育推進課	
SCALE A1:1/ 20 A3:1/ 40	設計	製図	図面名 受変電設備単線結線図及び外形参考図	E ― 05

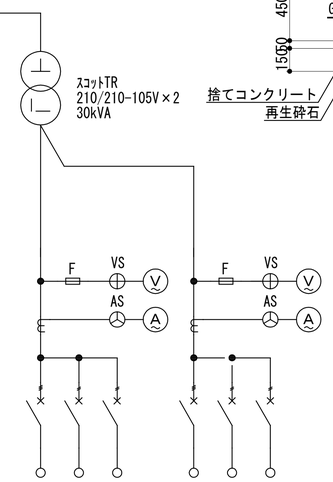


回路番号	負荷名称	負荷容量(KW)	遮断器定格容量	配線サイズ
01	消火栓ポンプ (消火栓ポンプ盤)	7.5	3P100AF/75AF	EM-FP-C14mm2-3C
02	給水ポンプ (給水ポンプ盤)	3.7×2	3P100AF/60AT	EM-CE14mm²-3C
03	浄化槽	18.1 7.5kW×1,7.5kW×1 2.2kW×1,その他	3P225AF/150AT	EM-CET38mm2
04	非常用電灯負荷	24.329	3P225AF/150AT	

回路番号	負荷名称	負荷容量(KW)	遮断器定格容量	配線サイズ
05	ﾒｲﾝｱﾘｰﾅ空調機 P-AC-1	12.6kW×3(消費電力) 12.13kW×3(電動機)	3P225AF/175AT	EM-CET100mm2
06	ﾒｲﾝｱﾘｰﾅ空調機 P-AC-2	12.6kW×3(消費電力) 12.13kW×3(電動機)	3P225AF/175AT	EM-CET100mm2

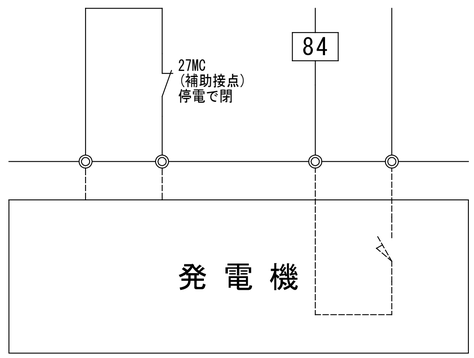
回路番号	負荷名称	負荷容量(KW)	遮断器定格容量	配線サイズ
07	ﾒｲﾝｱﾘｰﾅ空調機 P-AC-3	12.6kW×3(消費電力) 12.13kW×3(電動機)	3P225AF/175AT	EM-CET100mm2
08	ﾒｲﾝｱﾘｰﾅ空調機 P-AC-4	12.6kW×3(消費電力) 12.13kW×3(電動機)	3P225AF/175AT	EM-CET100mm2

回路番号	負荷名称	負荷容量(KW)	遮断器定格容量	配線サイズ
09	ｻﾌﾞｱﾘｰﾅ空調機 P-AC-5	12.6kW×3(消費電力) 12.13kW×3(電動機)	3P225AF/175AT	EM-CET100mm2
10	ｻﾌﾞｱﾘｰﾅ空調機 P-AC-6	12.6kW×3(消費電力) 12.13kW×3(電動機)	3P225AF/175AT	EM-CET100mm2

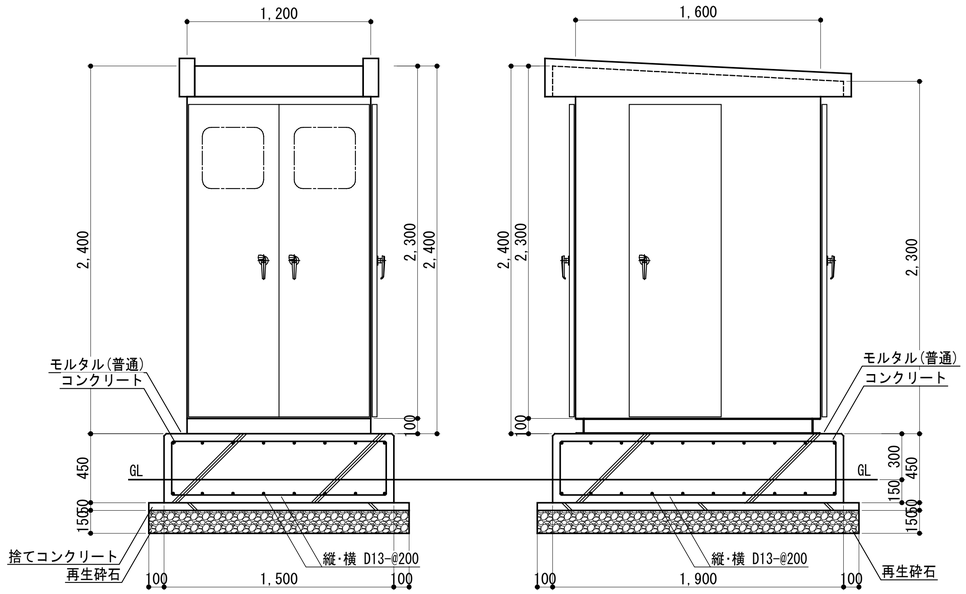


回路番号	負荷名称	負荷容量(KW)	遮断器定格容量	配線サイズ
11	L－1－1	9.321	3P50AF/50AT	EM-CET22mm2
12	発電機充電装置	0.000	2P50AF/20AT	EM-CE5.5mm2-2C
13	発電機ﾋｰﾀｰ	0.000	2P50AF/20AT	EM-CE5.5mm2-2C

回路番号	負荷名称	負荷容量(KW)	遮断器定格容量	配線サイズ
14	1L－1－1	14.965	3P100AF/60AT	EM-CET38mm2
15	2L－1－1	4.947	3P50AF/50Aｶ	EM-CET14mm2
16	地下ﾀﾝｸ液面指示計	0.015	2P50AF/20AT	EM-CE3.5mm2-2C

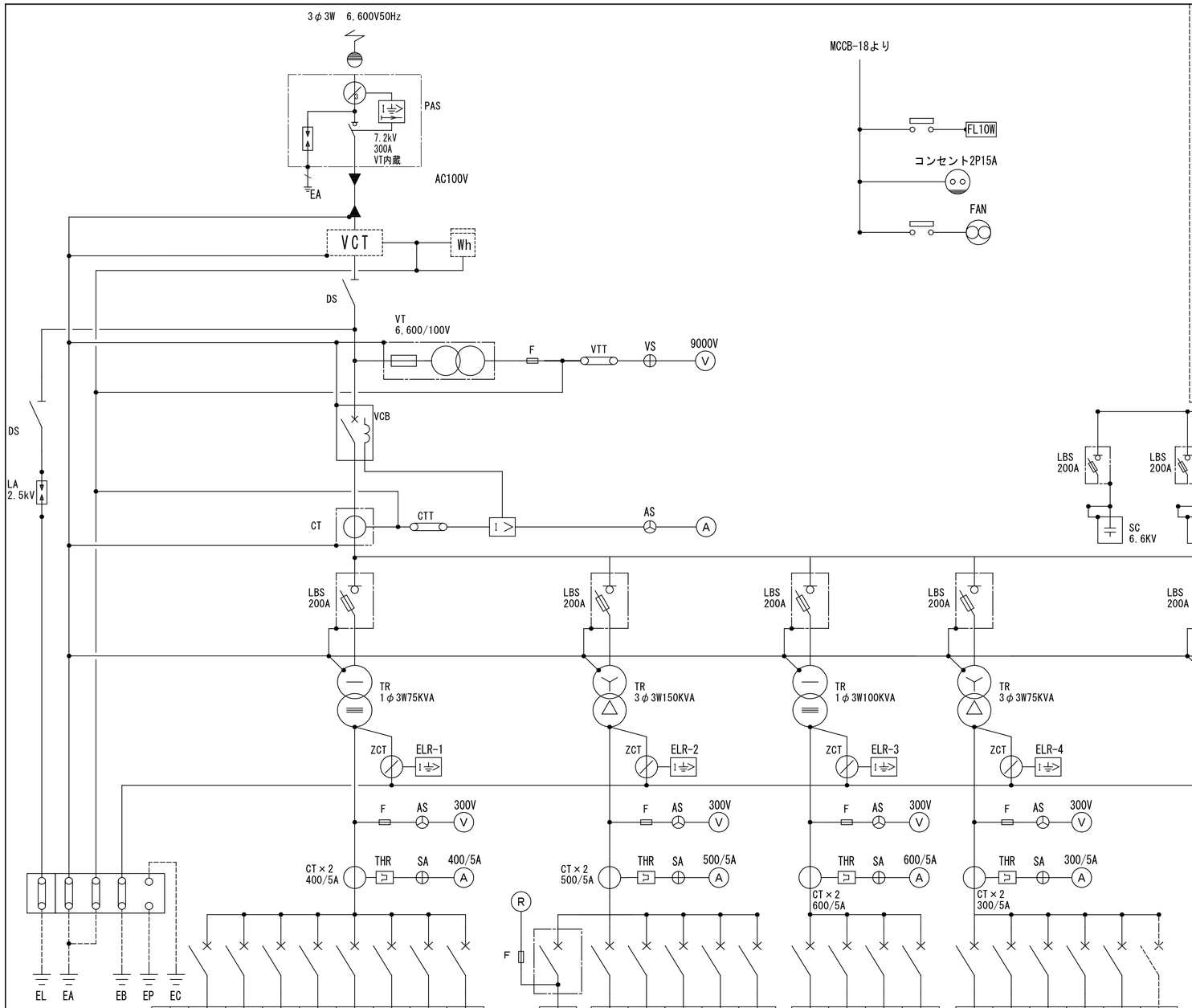


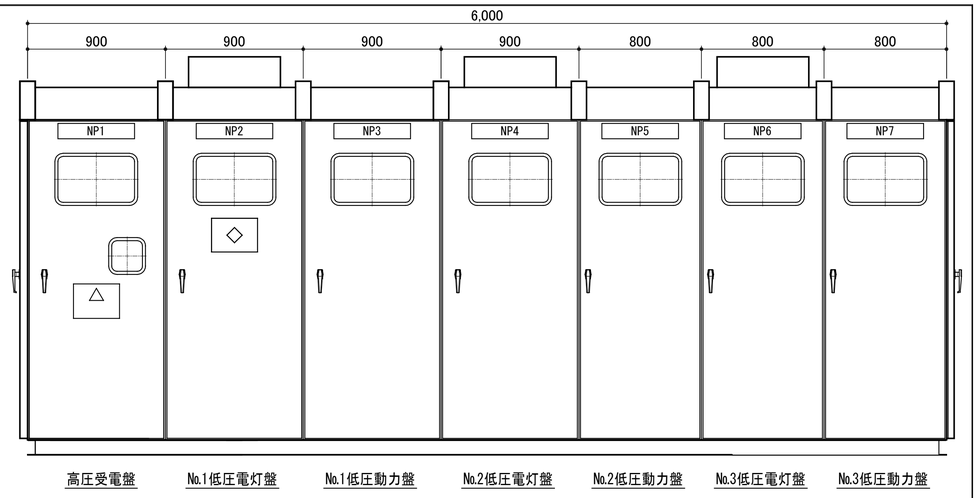
825A



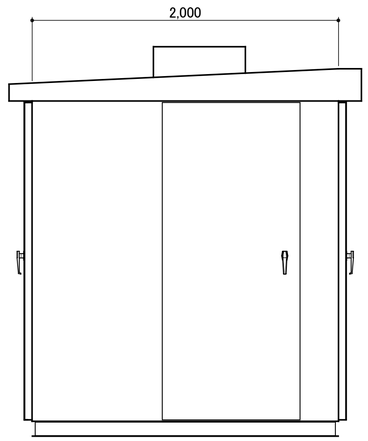
AC-GC切替盤外形参考図 S=1/20

工事名 宮代町立体育館空調設備設置電気設備工事			宮代町教育推進課
SCALE A1:1/ 20 A3:1/ 40	設計	製図	図面名 AC-GC切替盤単線結線図及び外形参考図	E ― 06

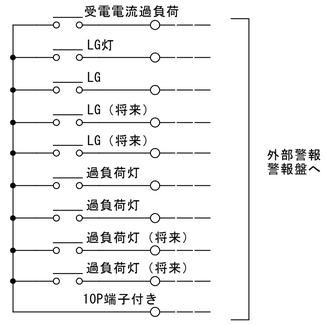




既設屋外ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式受変電設備 S=1/20



既設屋外ｷｭｰﾋﾞｸﾙ式受変電設備 S=1/20



幹線サイズ	負荷容量	遮断器定格容量	負荷名称	遮断器NO	幹線NO
CVT100mm²	31KVA	MCCB 3P225AF/225AT(NF225-CS)	L-1	11	
CVT38mm2	16KVA	MCCB 3P100AF/100AT(NF100-CS)	LP-2	12	
CVT100mm²	20KVA	MCCB 3P225AF/125AT(NF225-CS)	外灯盤（既設）	13	
CV3.5mm²-3c	1KVA	MCCB 2P50AF/20AT(NF50-SS)	ポンプ室	14	
—	—	MCCB 3P100AF/100AT(NF100-CS)	予備	15	
CV5.5mm²-3c	—	MCCB 2P50AF/20AT(BH-K)	PAS電源	16	
—	—	MCCB 2P50AF/20AT(BH-K)	ELR電源	17	
—	—	MCCB 2P50AF/20AT(BH-K)	所内電源	18	

No.1低圧電灯盤

幹線サイズ	負荷容量	遮断器定格容量	負荷名称	遮断器NO	幹線NO
FP38mm²-3c	7.5KW	MCCB 3P100AF/100AT(NF100-CS)	消火栓ポンプ	20	

幹線サイズ	負荷容量	遮断器定格容量	負荷名称	遮断器NO	幹線NO
CVT150mm²	48.1KW	MCCB 3P400AF/250AT(NF400-CS)	P-1	21	
CVT100mm²	43.1KW	MCCB 3P225AF/225AT(NF225-CS)	LP-2	22	
CVT38mm²	18.1KW	MCCB 3P225AF/125AT(NF225-CS)	浄化槽	23	
CV8mm²-3c	3.7KW	MCCB 3P50AF/50AT(NF50-SS)	ボイラー	24	
CVT38mm²	15KW	MCCB 3P100AF/100AT(NF100-CS)	エレベータ	25	

No.1低圧動力盤

幹線サイズ	負荷容量	遮断器定格容量	負荷名称	遮断器NO	幹線NO
CVT100mm²	30.39KVA	MCCB 3P225AF/225AT(NF225-CS)	1L-1	31	
CVT200mm2	89.037KVA	MCCB 3P400AF/400AT(NF400-CS)	2L-1	32	
—	—	MCCB 3P100AF/100AT(NF100-CS)	予備	33	
—	—	MCCB 3P100AF/100AT(NF100-CS)	予備	34	

No.2低圧電灯盤

幹線サイズ	負荷容量	遮断器定格容量	負荷名称	遮断器NO	幹線NO
CVT100mm²	20.5KW	MCCB 3P225AF/225AT(NF225-CS)	P-1送風機	41	
CVT100mm²	17.6KW	MCCB 3P225AF/225AT(NF225-CS)	P-1空調機	42	
—	—	MCCB 3P100AF/100AT(NF100-CS)	予備	43	
—	—	MCCB 3P100AF/100AT(NF100-CS)	予備	44	
—	—	MCCB 3P100AF/100AT(NF100-CS)	給水ポンプ	45	
CV14mm²-3c	—	MCCB 3P50AF/ AT(NF50-SS)	スペース	46	

No.2低圧動力盤

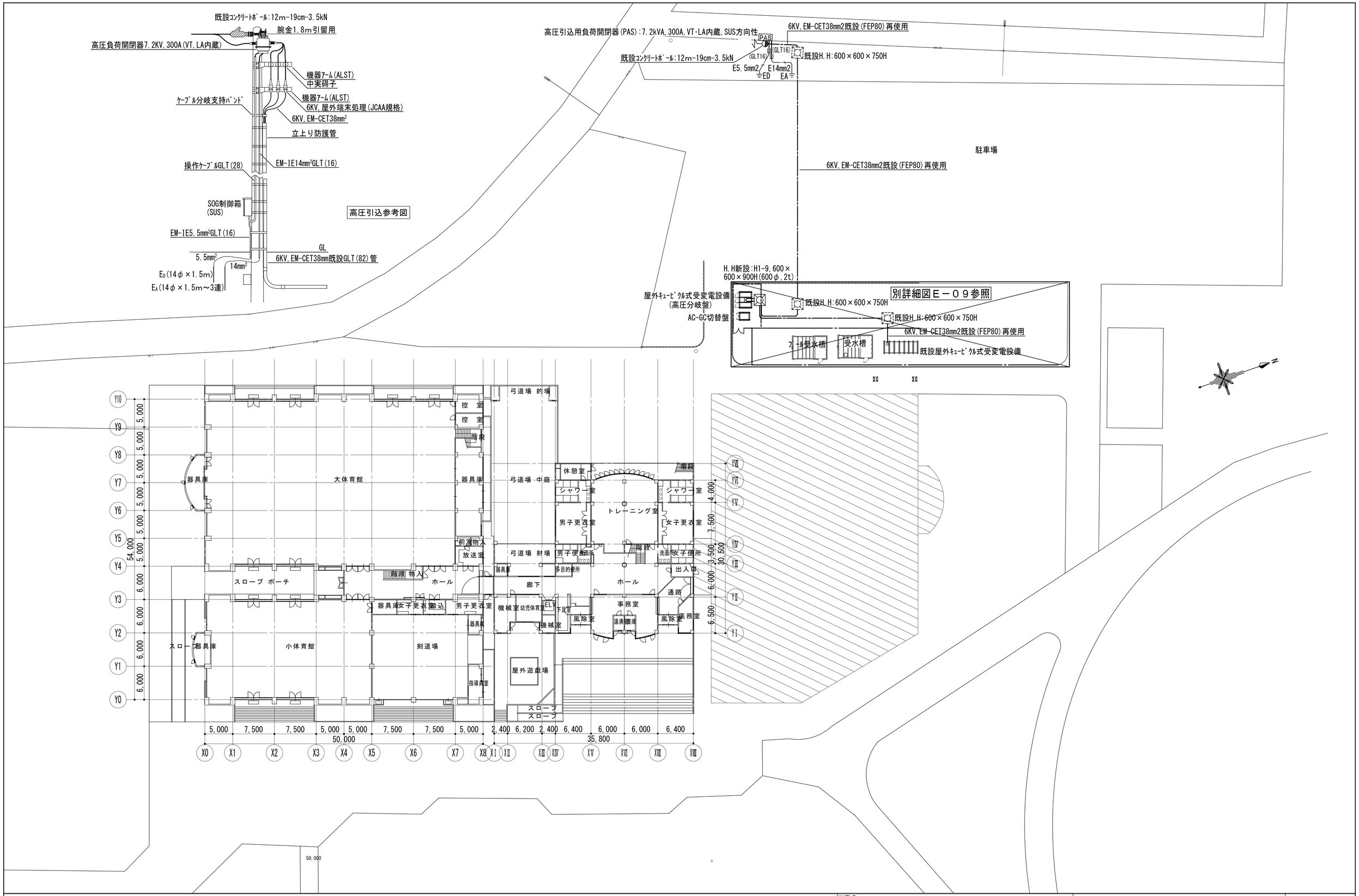
幹線サイズ	負荷容量	遮断器定格容量	負荷名称	遮断器NO	幹線NO
—	—	MCCB 3P225AF/ AT(NF225-CS)		51	

No.3低圧電灯盤

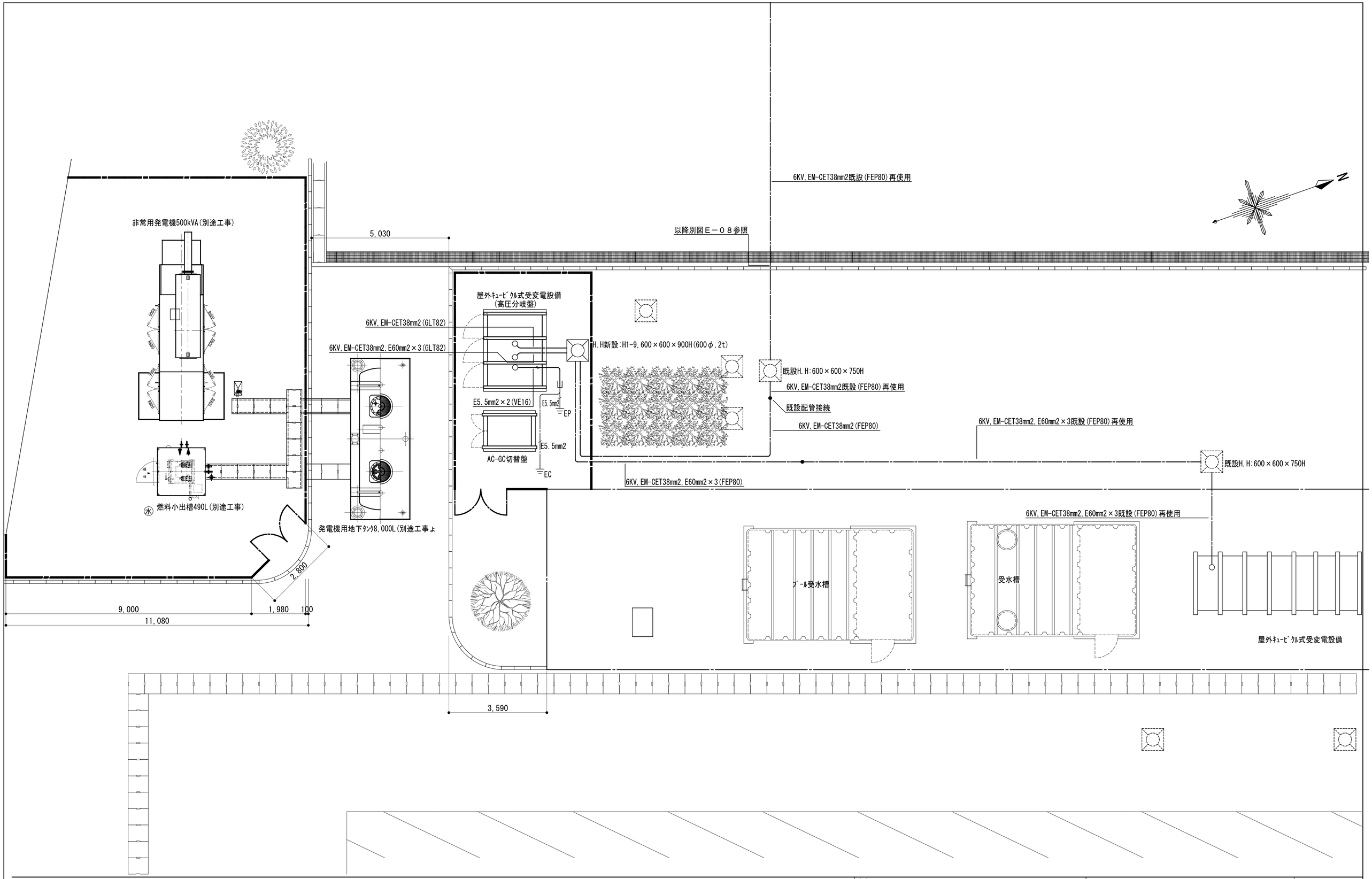
幹線サイズ	負荷容量	遮断器定格容量	負荷名称	遮断器NO	幹線NO
—	—	MCCB 3P225AF/ AT(NF225-CS)		61	

No.3低圧動力盤

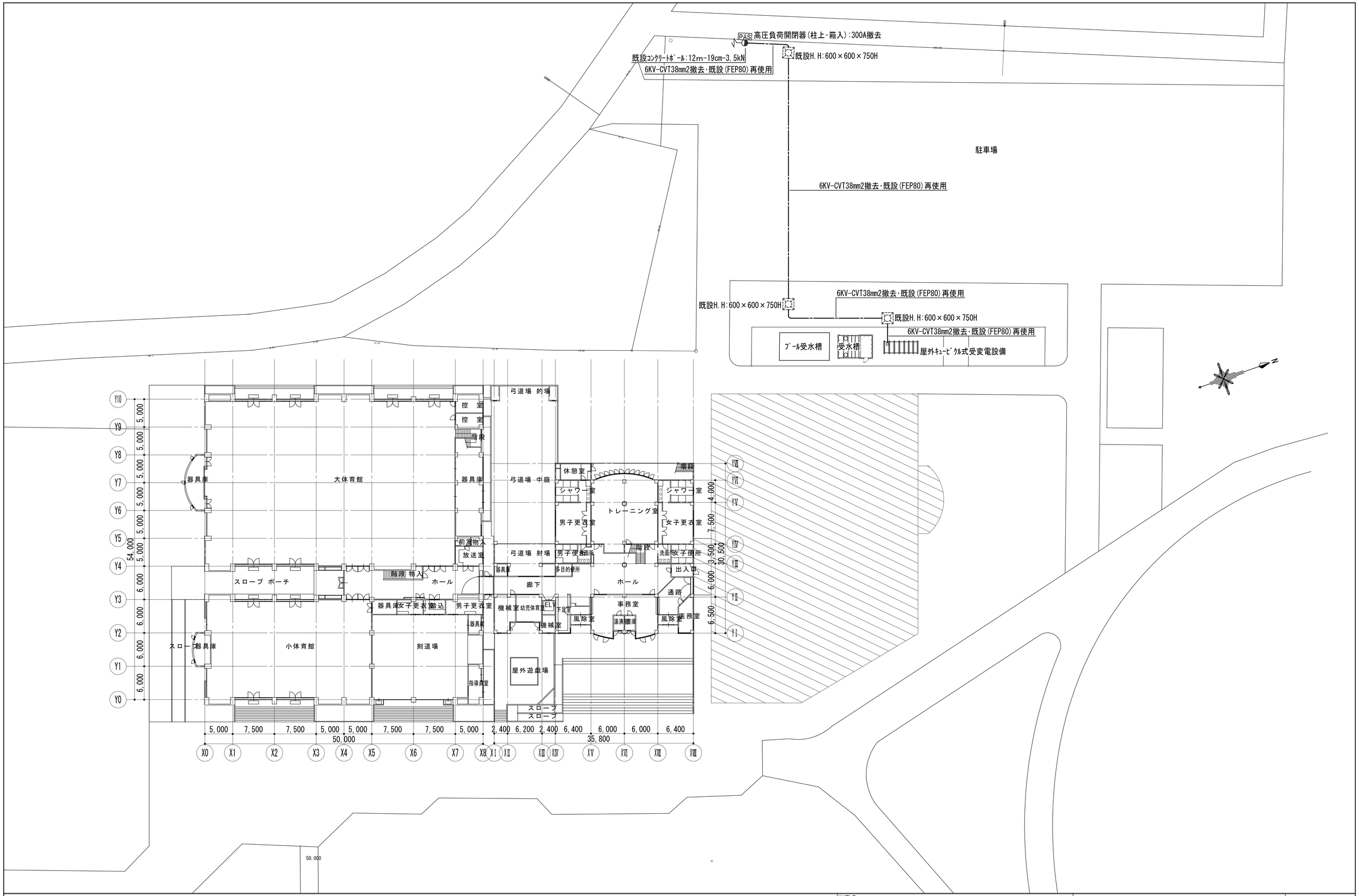
工事名 宮代町立体育館空調設備設置電気設備工事			宮代町教育推進課
SCALE A1:1/20 A3:1/40	設計	製図	図面名 既設受変電設備単線結線図及び外形参考図
			E — 07



工事名	宮代町立体育館空調設備設置電気設備工事		宮代町教育推進課
SCALE A1:1/300 A3:1/600	設計	製図	図面名 受変電設備改修平面図	E ― 08



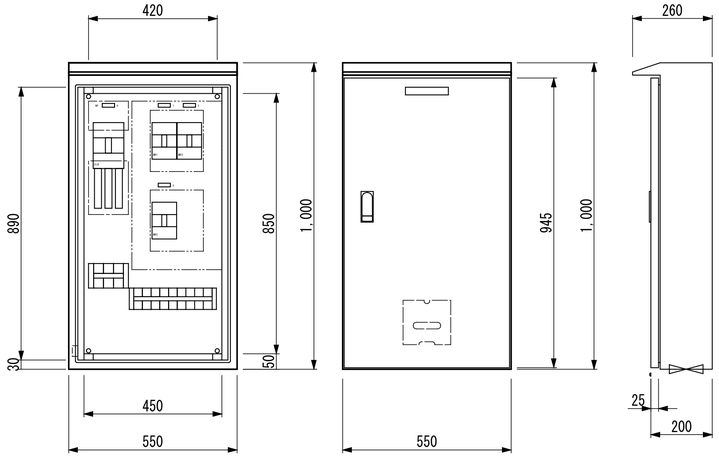
工事名	宮代町立体育館空調設備設置電気設備工事			宮代町教育推進課	
SCALE	A1:1/ 60 A3:1/120	設計	製図	図面名 受変電設備改修平面詳細図	E ― ０９



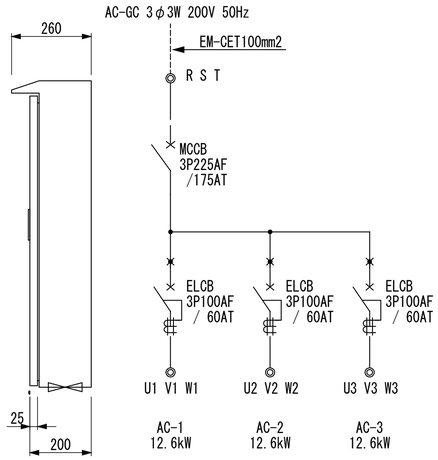
工事名	宮代町立体育館空調設備設置電気設備工事		宮代町教育推進課
SCALE A1:1/300 A3:1/600	設計	製図	図面名 受変電設備撤去平面図	E — 10

Ｐ－ＡＣ－1～６　動力盤単線結線図・外形参考図(屋外壁掛形･ＳＵＳ製指定色塗装仕上げ)

6面

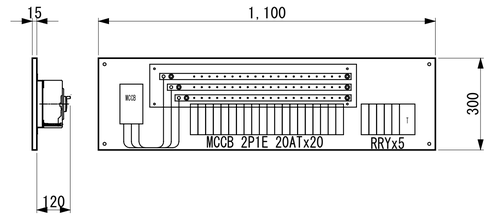


空調盤Ｐ－ＡＣ－１～６姿図　S=1/10



空調盤（PAC-1）単線結線図

Ｌ－１－１　屋内壁掛形(総合盤収容)

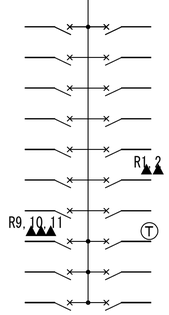


(AC/GC切替盤より)
AC-GC 1φ3W 200/100V 50Hz

EM-CET22mm2

MCCB
3P
50AF/50AT
中性線欠相保護付

容量(VA)	負荷名称	備考	遮断器(AF/AT)	電圧	回路番号
240	誘導灯	赤文字 赤ﾛｯｸｶﾊﾞｰ付	2P1E 50/20	100V	A
1000	防災アンプ	赤文字 赤ﾛｯｸｶﾊﾞｰ付	2P1E 50/20	100V	C
100	電話主装置	赤文字 赤ﾛｯｸｶﾊﾞｰ付	2P1E 50/20	100V	E
10	親時計	赤文字 赤ﾛｯｸｶﾊﾞｰ付	2P1E 50/20	100V	G
	自動制御盤	赤文字 赤ﾛｯｸｶﾊﾞｰ付	2P1E 50/20	100V	I
2640	照明		2P2E 50/20	200V	1
1000	コンセント		2P1E 50/20	100V	5
424	照明		2P1E 50/20	100V	K
698	照明		2P1E 50/20	100V	B
	予備		2P1E 50/20	100V	



TOTAL 9321VA

回路番号	電圧	遮断器(AF/AT)	備考	負荷名称	容量(VA)
B	100V	2P1E 50/20	赤文字 赤ﾛｯｸｶﾊﾞｰ付	火災報知機	200
D	100V	2P1E 50/20	赤文字 赤ﾛｯｸｶﾊﾞｰ付	ITV 架 照明	400
F	100V	2P1E 50/20	赤文字 赤ﾛｯｸｶﾊﾞｰ付	警報盤 ﾄｲﾚ呼出装置	100
H	100V	2P1E 50/20	赤文字 赤ﾛｯｸｶﾊﾞｰ付	警備保障	250
	100V	2P1E 50/20		予備	
2	100V	2P1E 50/20		照明	315
4	100V	2P1E 50/20		コンセント	1000
30	100V	2P1E 50/20		ﾘﾓｺﾝﾄﾗﾝｽ	50
F	100V	2P1E 50/20		照明	684
J	100V	2P1E 50/20		照明	210

MCCB　▲リモコンリレー

１Ｌ－１－１　屋内壁掛形鋼板製指定色仕上げ

(AC/GC切替盤より)
AC-GC 1φ3W 200/100V 50Hz

EM-CET38mm2

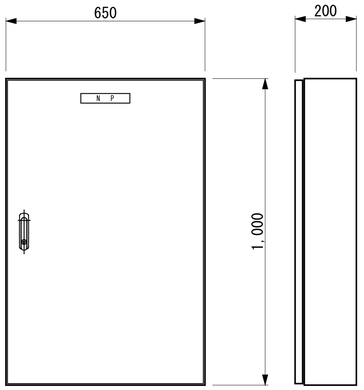
TB

TOTAL 19111VA

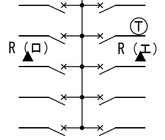
回路番号	電圧	遮断器(AF/AT)	備考	負荷名称	容量(VA)
ロ	100V	2P1E 50/20	赤文字 赤ﾛｯｸｶﾊﾞｰ付	誘導灯	195

容量(VA)	負荷名称	備考	遮断器(AF/AT)	電圧	回路番号
351	誘導灯	赤文字 赤ﾛｯｸｶﾊﾞｰ付	2P1E 50/20	100V	イ

MCCB
3P
100AF/60AT
中性線欠相保護付



容量(VA)	負荷名称	備考	遮断器(AF/AT)	電圧	回路番号
1800	空調機		2P2E 50/20	200V	AC1
1800	空調機		2P2E 50/20	200V	AC3
1800	空調機		2P2E 50/20	200V	AC5
1500	大ﾎｰﾙｺﾝｾﾝﾄ		2P1E 50/20	100V	A
	予備		2P1E 50/20	100V	
500	器具庫ｺﾝｾﾝﾄ		2P1E 50/20	100V	E
555	更衣室照明		2P1E 50/20	100V	V
344	ホール照明		2P1E 50/20	100V	3
200	電動暗幕		2P1E 50/20	100V	9
200	電動暗幕		2P1E 50/20	100V	11



TOTAL 18565VA

回路番号	電圧	遮断器(AF/AT)	備考	負荷名称	容量(VA)
AC2	200V	2P2E 50/20		空調機	1800
AC4	200V	2P2E 50/20		空調機	1800
AC6	200V	2P2E 50/20		空調機	1800
B	100V	2P1E 50/20		大ﾎｰﾙｺﾝｾﾝﾄ	1500
D	100V	2P1E 50/20		小ﾎｰﾙｺﾝｾﾝﾄ	1500
F	100V	2P1E 50/20		器具庫ｺﾝｾﾝﾄ	500
P	100V	2P1E 50/20		ﾘﾓｺﾝﾄﾗﾝｽ	50
4	100V	2P1E 50/20		ホール照明	516
10	100V	2P1E 50/20		電動暗幕	200
12	100V	2P1E 50/20		電動暗幕	200

MCCB　▲リモコンリレー

２Ｌ－１－１　屋内壁掛形鋼板製指定色仕上げ

(AC/GC切替盤より)
AC-GC 1φ3W 200/100V 50Hz

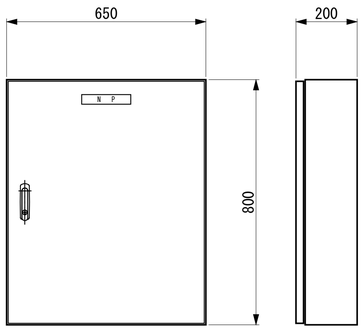
EM-CET14mm2

TB

TOTAL 4974VA

回路番号	電圧	遮断器(AF/AT)	備考	負荷名称	容量(VA)
ロ	100V	2P1E 50/20	赤文字 赤ﾛｯｸｶﾊﾞｰ付	誘導灯	195

MCCB
3P
50AF/50AT
中性線欠相保護付



容量(VA)	負荷名称	備考	遮断器(AF/AT)	電圧	回路番号
376	大体育室照明		2P2E 50/20	200V	1
376	大体育室照明		2P2E 50/20	200V	3
376	大体育室照明		2P2E 50/20	200V	5
376	大体育室照明		2P2E 50/20	200V	7
376	小体育室照明		2P2E 50/20	200V	9
376	小体育室照明		2P2E 50/20	200V	11
376	小体育室照明		2P2E 50/20	200V	13

回路番号	電圧	遮断器(AF/AT)	備考	負荷名称	容量(VA)
2	200V	2P2E 50/20		大体育室照明	376
4	200V	2P2E 50/20		大体育室照明	376
6	200V	2P2E 50/20		大体育室照明	376
8	200V	2P2E 50/20		大体育室照明	376
10	200V	2P2E 50/20		小体育室照明	376
12	200V	2P2E 50/20		小体育室照明	376
	100V	2P1E 50/20		予備	

MCCB

工事名	宮代町立体育館空調設備設置電気設備工事		宮代町教育推進課
SCALE A1:1/10 A3:1/20	設計	製図	図面名 分電盤単線結線図･外形参考図
			E ― 11

※A

配　　線	配　管	負荷名称(容量)
EM-CE200mm2-1C×3, E38mm2, E60mm2	FEP(80)	AC-GC切替盤・MCDT3P300A
EM-CE250mm2-1C×3	FEP(80)	AC-GC切替盤・MCDT3P400A No. 1
EM-CE250mm2-1C×3	FEP(80)	AC-GC切替盤・MCDT3P400A No. 2
EM-CE250mm2-1C×3	FEP(80)	AC-GC切替盤・MCDT3P400A No. 3
——C-——	FEP(80)	予　備

※B

配　　線	配　管	負荷名称(容量)
EM-CE200mm2-1C×3, E38mm2, E60mm2	FEP(80)	AC-GC切替盤・MCDT3P300A
EM-CE250mm2-1C×3	FEP(80)	AC-GC切替盤・MCDT3P400A No. 1
EM-CE250mm2-1C×3	FEP(80)	AC-GC切替盤・MCDT3P400A No. 2
EM-CE250mm2-1C×3	FEP(80)	AC-GC切替盤・MCDT3P400A No. 3

※C

配　　線	配　管	負荷名称(容量)
EM-CE100mm2-1C×6, E14mm2×2	FEP(80)	空調機動力盤P-AC-1・P-AC-2:12.6kW×6
EM-CE100mm2-1C×6, E14mm2×2	FEP(80)	空調機動力盤P-AC-3・P-AC-4:12.6kW×6
EM-CE100mm2-1C×6, E14mm2×2	FEP(80)	空調機動力盤P-AC-5・P-AC-6:12.6kW×6
——C-——	FEP(50)	予　備
EM-CET38mm2	FEP(50)	体育館1階電灯盤1L-1-1:10.061kW
EM-CET22mm2	FEP(50)	体育館2階電灯盤2L-1-1:4.947kW
EM-CET14mm2, EM-CEE2mm2-2C	FEP(50)	事務室電灯盤L-1-1:9.321kW, 発電機
EM-CE14mm2-3C, E5.5mm2	FEP(40)	給水ﾎﾟﾝﾌﾟ:3.7kW×2
EM-FP-C14mm2-3C	FEP(40)	消火栓ﾎﾟﾝﾌﾟ:7.5kW
EM-CET38mm2	FEP(50)	浄化槽:18.1kW

※D

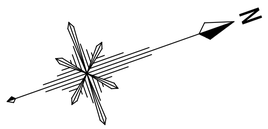
配　　線	配　管	負荷名称(容量)
EM-CE100mm2-1C×6, E14mm2×2	FEP(80)	空調機動力盤P-AC-1・P-AC-2:12.6kW×6
EM-CE100mm2-1C×6, E14mm2×2	FEP(80)	空調機動力盤P-AC-3・P-AC-4:12.6kW×6
EM-CE100mm2-1C×6, E14mm2×2	FEP(80)	空調機動力盤P-AC-5・P-AC-6:12.6kW×6
——C-——	FEP(50)	予　備
EM-CET38mm2	FEP(50)	体育館1階電灯盤1L-1-1:10.061kW
EM-CET22mm2	FEP(50)	体育館2階電灯盤2L-1-1:4.947kW
EM-CET14mm2, EM-CEE2mm2-2C	FEP(50)	事務室電灯盤L-1-1:9.321kW

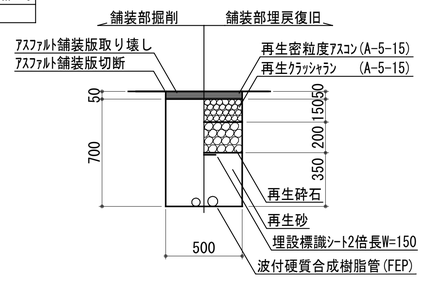
※E

配　　線	配　管	負荷名称(容量)
EM-CE100mm2-1C×6, E14mm2×2	FEP(80)	空調機動力盤P-AC-1・P-AC-2:12.6kW×6
EM-CE100mm2-1C×6, E14mm2×2	FEP(80)	空調機動力盤P-AC-3・P-AC-4:12.6kW×6
EM-CE100mm2-1C×6, E14mm2×2	FEP(80)	空調機動力盤P-AC-5・P-AC-6:12.6kW×6
——C-——	FEP(50)	予　備

※F

配　　線	配　管	負荷名称(容量)
EM-CET14mm2	FEP(50)	事務室電灯盤L-1-1:9.321kW
EM-CEE2mm2-2C		発電機警報
EM-CET38mm2	FEP(50)	体育館1階電灯盤1L-1-1:10.061kW
EM-CET22mm2	FEP(50)	体育館2階電灯盤2L-1-1:4.947kW

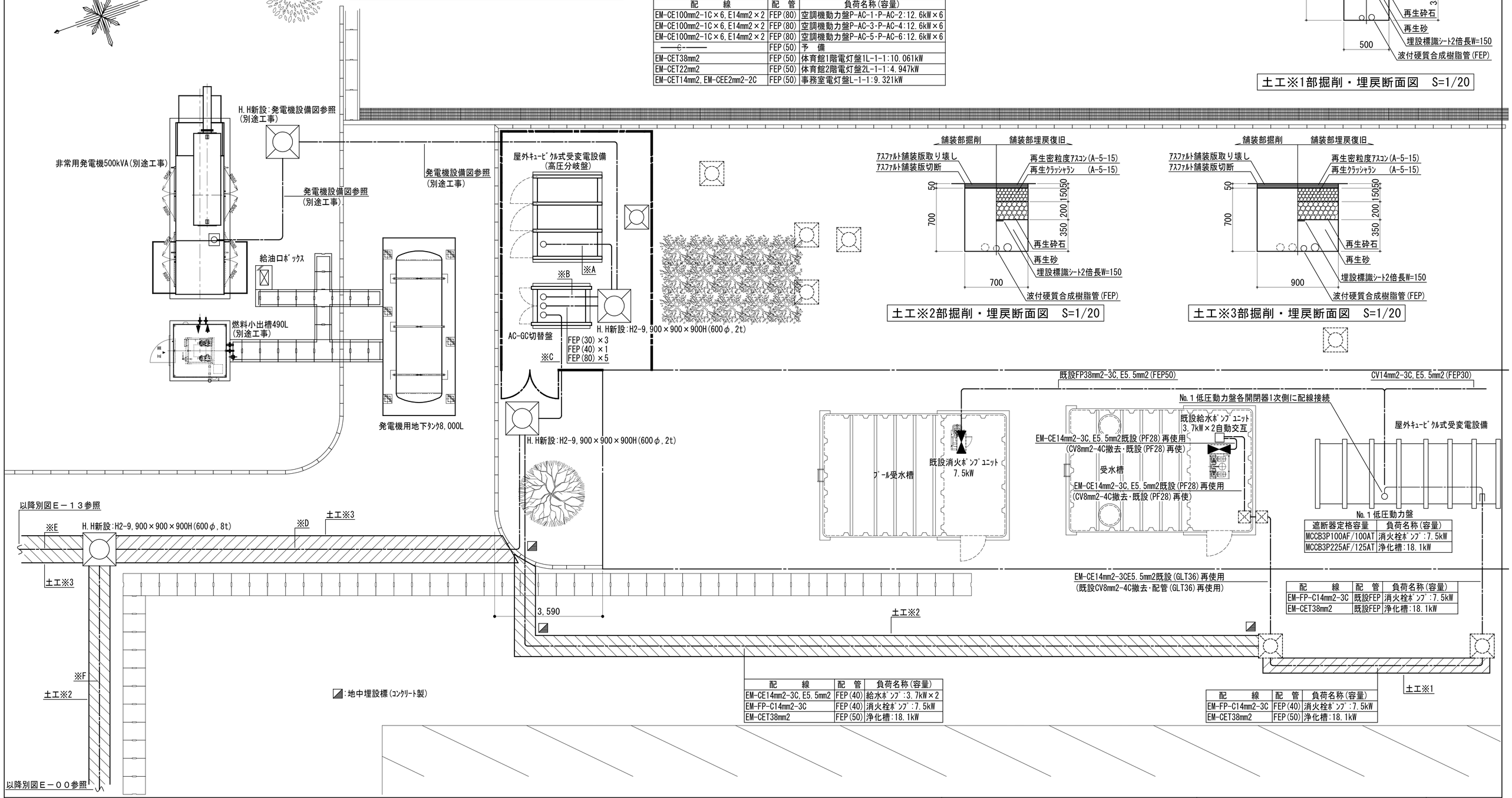




土工※1部掘削・埋戻断面図　S=1/20

土工※2部掘削・埋戻断面図　S=1/20

土工※3部掘削・埋戻断面図　S=1/20



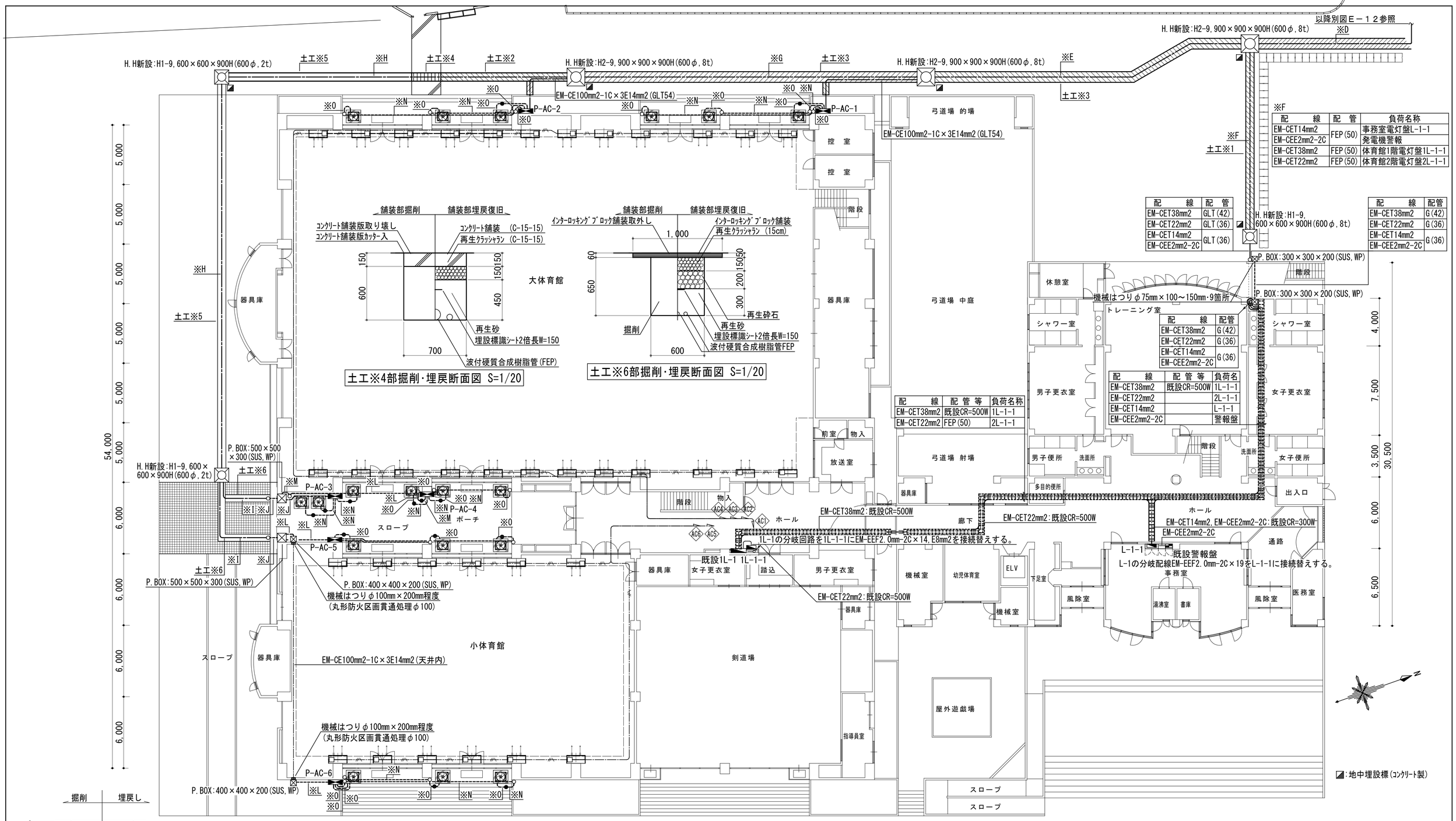
遮断器定格容量	負荷名称(容量)
MCCB3P100AF/100AT	消火栓ﾎﾟﾝﾌﾟ:7.5kW
MCCB3P225AF/125AT	浄化槽:18.1kW

配　　線	配　管	負荷名称(容量)
EM-FP-C14mm2-3C	既設FEP	消火栓ﾎﾟﾝﾌﾟ:7.5kW
EM-CET38mm2	既設FEP	浄化槽:18.1kW

配　　線	配　管	負荷名称(容量)
EM-CE14mm2-3C, E5.5mm2	FEP(40)	給水ﾎﾟﾝﾌﾟ:3.7kW×2
EM-FP-C14mm2-3C	FEP(40)	消火栓ﾎﾟﾝﾌﾟ:7.5kW
EM-CET38mm2	FEP(50)	浄化槽:18.1kW

配　　線	配　管	負荷名称(容量)
EM-FP-C14mm2-3C	FEP(40)	消火栓ﾎﾟﾝﾌﾟ:7.5kW
EM-CET38mm2	FEP(50)	浄化槽:18.1kW

工事名	宮代町立体育館空調設備設置電気設備工事		宮代町教育推進課
SCALE	A1:1/ 60 A3:1/120	設計 / 製図	図面名 幹線・動力設備屋外改修平面詳細図
			E ― 12



配線	配管	負荷名称
EM-CET14mm2	FEP(50)	事務室電灯盤L-1-1
EM-CEE2mm2-2C		発電機警報
EM-CET38mm2	FEP(50)	体育館1階電灯盤1L-1-1
EM-CET22mm2	FEP(50)	体育館2階電灯盤2L-1-1

配線	配管
EM-CET38mm2	GLT(42)
EM-CET22mm2	GLT(36)
EM-CET14mm2	GLT(36)
EM-CEE2mm2-2C	

配線	配管
EM-CET38mm2	G(42)
EM-CET22mm2	G(36)
EM-CET14mm2	G(36)
EM-CEE2mm2-2C	

配線	配管
EM-CET38mm2	G(42)
EM-CET22mm2	G(36)
EM-CET14mm2	G(36)
EM-CEE2mm2-2C	

配線	配管等	負荷名
EM-CET38mm2	既設CR=500W	1L-1-1
EM-CET22mm2		2L-1-1
EM-CET14mm2		L-1-1
EM-CEE2mm2-2C		警報盤

配線	配管等	負荷名称
EM-CET38mm2	既設CR=500W	1L-1-1
EM-CET22mm2	FEP(50)	2L-1-1

※H

配線	配管	負荷名称(容量)
EM-CE100mm2-1C×6,E14mm2×2	FEP(80)	空調機動力盤P-AC-3・P-AC-4:12.6kW×6
EM-CE100mm2-1C×6,E14mm2×2	FEP(80)	空調機動力盤P-AC-5・P-AC-6:12.6kW×6
——C——	FEP(50)	予 備

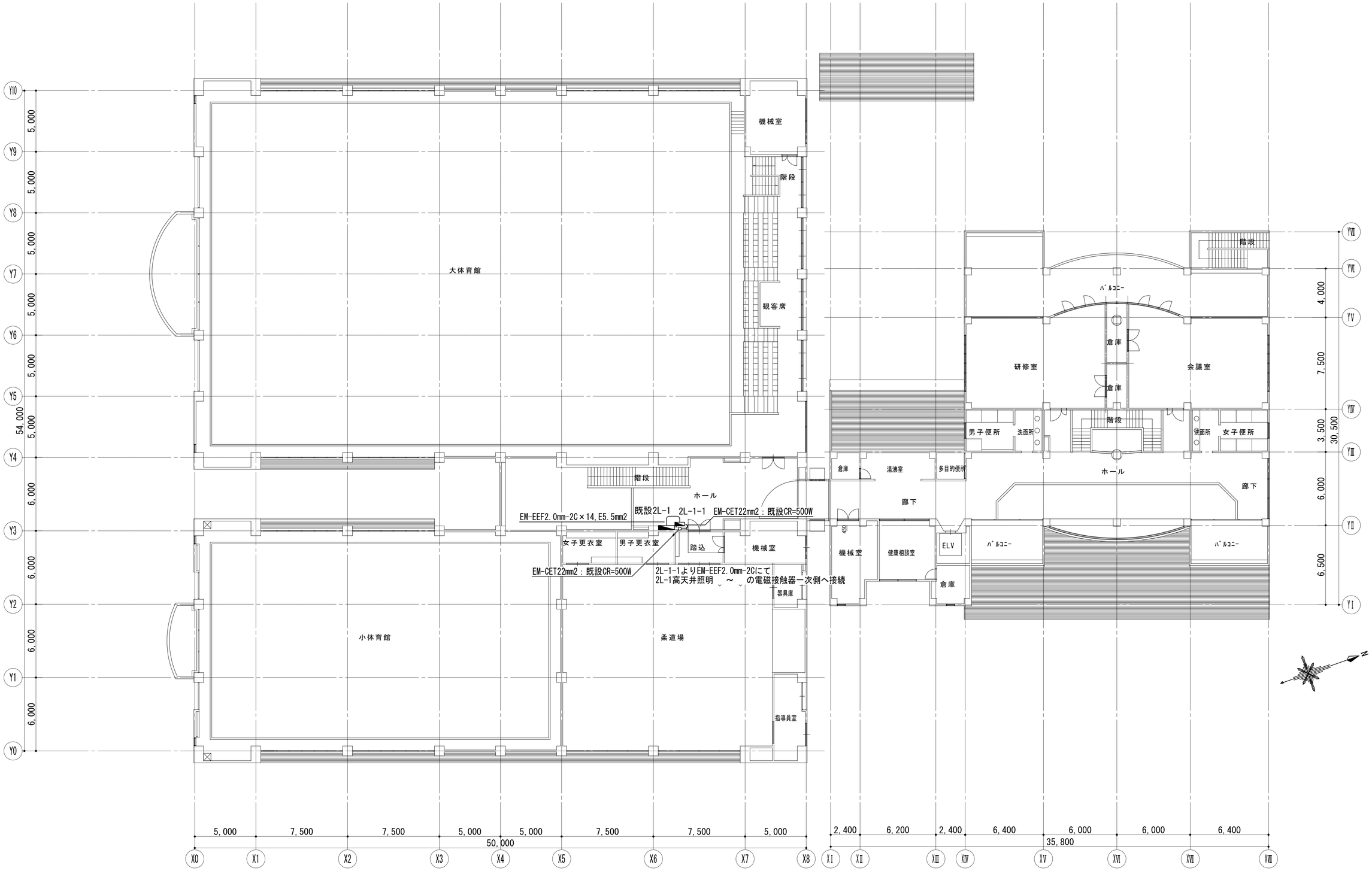
※G

配線	配管	負荷名称(容量)
EM-CE100mm2-1C×3,E14mm2×1	FEP(65)	空調機動力盤P-AC-2:12.6kW×3
EM-CE100mm2-1C×6,E14mm2×2	FEP(80)	空調機動力盤P-AC-3・P-AC-4:12.6kW×6
EM-CE100mm2-1C×6,E14mm2×2	FEP(80)	空調機動力盤P-AC-5・P-AC-6:12.6kW×6
——C——	FEP(50)	予 備

※E

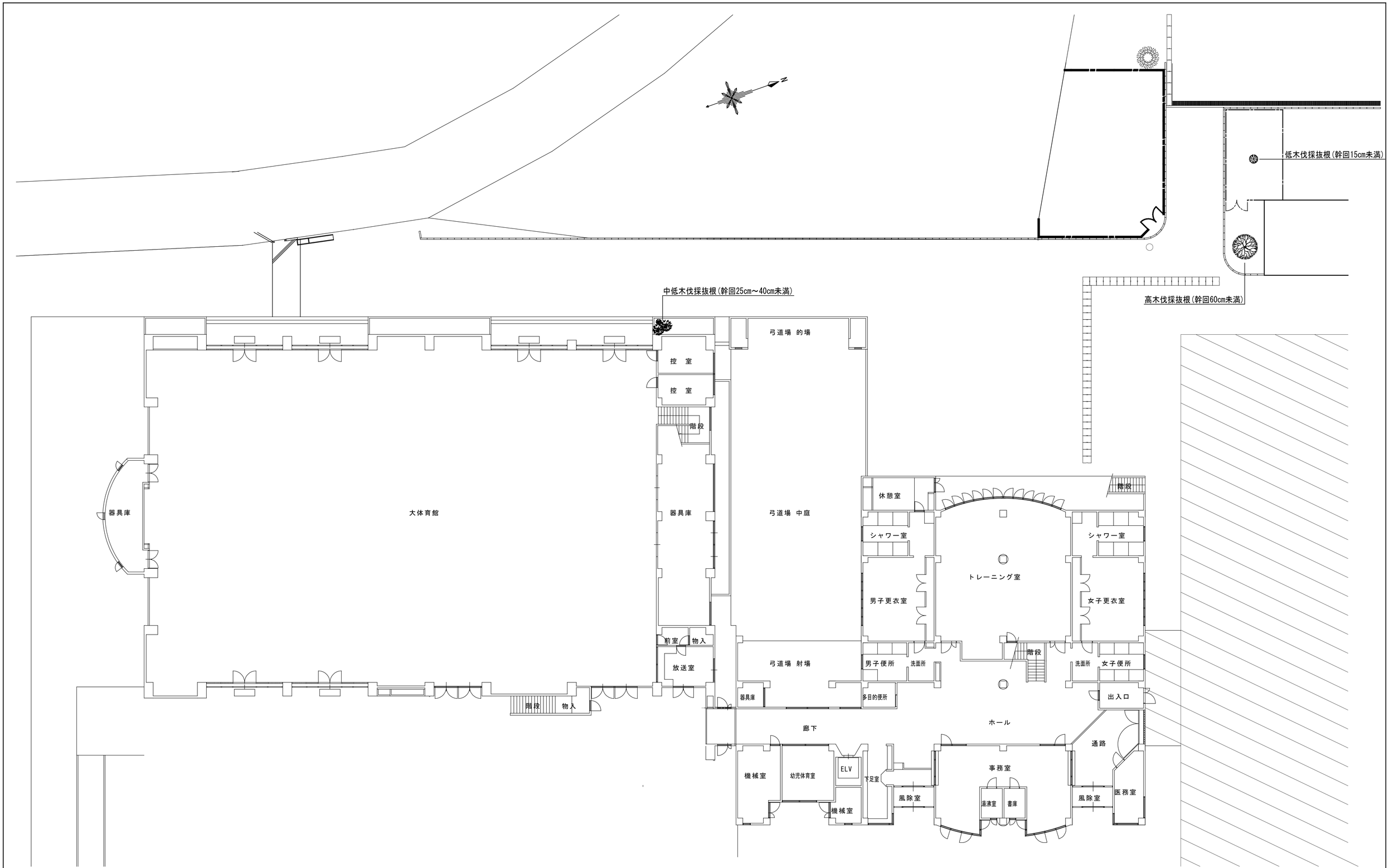
配線	配管	負荷名称(容量)
EM-CE100mm2-1C×6,E14mm2×2	FEP(80)	空調機動力盤P-AC-1・P-AC-2:12.6kW×6
EM-CE100mm2-1C×6,E14mm2×2	FEP(80)	空調機動力盤P-AC-1・P-AC-2:12.6kW×6
EM-CE100mm2-1C×6,E14mm2×2	FEP(80)	空調機動力盤P-AC-1・P-AC-2:12.6kW×6
——C——	FEP(50)	予 備

工事名 宮代町立体育館空調設備設置電気設備工事		宮代町教育推進課	
SCALE A1:1/150 A3:1/300	設計	製図	図面名 幹線・動力設備１階改修平面図	E ― １３



２階平面図 S=1/150

工事名 宮代町立体育館空調設備設置電気設備工事			宮代町教育推進課
SCALE A1:1/150 A3:1/300	設計	製図	図面名 幹線・動力設備２階改修平面図	E ― 14



工事名	宮代町立体育館空調設備設置電気設備工事			宮代町教育推進課	
SCALE	A1:1/150 A3:1/300	設計	製図	図面名 植栽撤去平面図	E ― 15